

# 平成 27 年度 定期社員総会

## － 資料集 －

日時 平成 27 年 6 月 11 日 (木)  
場所 TKP 東京駅日本橋カンファレンスセンター ホール 2A



一般社団法人 日本 ELV リサイクル機構

英文名 JAPAN ELV RECYCLER'S ASSOCIATION

略称 **J A E R A**

## ご挨拶

公益財団法人 自動車リサイクル促進センター

この度の一般社団法人日本ELVリサイクル機構 平成27年度定期社員総会の開催を心よりお慶び申し上げます。

自動車リサイクル法が施行されて10年が経過し、昨年からは産業構造審議会と中央環境審議会の合同会議の場で、2回目の法見直しに関する議論が進められております。「自動車における3Rの推進・質の向上」、「自動車リサイクル制度の安定的かつ効率的な運用」、並びに「今後の自動車リサイクル制度のあるべき姿」といった論点で、自動車リサイクル法の評価報告書が取り纏められる方向と伺っております。

貴機構並びに会員の皆様におかれましては、日本の自動車リサイクルシステムの根幹を担う重要な役割を果たされており、自動車リサイクル士制度を始めとする様々な取り組みの中で、将来の自動車リサイクル業界を支える人財の育成と、業界の基盤強化に尽力されてこられました。また、法に基づく適正処理の推進や、自動車リサイクルの高度化にも積極的に取り組んでこられており、心より敬意を表するものであります。

日本の自動車リサイクルシステムは、極めて安定的な稼働を継続していると申せますが、私ども公益財団法人自動車リサイクル促進センターと致しましては、自動車リサイクルを取り巻く環境変化や新たなニーズに対するアンテナを高く保ち、次の10年に向けて、より一層安定的かつ効率的な運営を実現するべく、財団の役職員が一丸となって取り組む所存でございます。その際の鍵となるのは、貴機構を始めとするステークホルダーの皆様とのコミュニケーションであります。今後とも、引き続き倍旧のご指導、ご鞭撻とご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

末筆ではございますが、貴機構の益々のご発展、並びに会員の皆様方の益々のご健勝をお祈り申し上げます。

## ご挨拶

一般社団法人 自動車再資源化協力機構

一般社団法人 日本 ELV リサイクル機構「平成 27 年度 定期社員総会」の開催を心よりお慶び申し上げます。

また、平素よりフロン類・エアバッグ類の適正処理活動への格別のご理解とご協力をいただいておりますことに、心より厚く御礼申し上げます。

さて、2014 年度を振り返ると、4 月からの消費増税に伴う駆け込み需要の反動と消費冷え込みの影響により、新車販売台数は 530 万台と昨年度を若干下回りました。

また、使用済自動車の引取台数についても、好調な中古車輸出の継続や使用年数の長期化に伴い 330 万台と昨年度を下回る結果となり、解体業界を取り巻く環境は厳しい状況が継続しているものと拝察しております。

このような時勢においては、闇雲に数を追い求めるだけではなく、自社の強みと弱点をしっかりと見つけ、基盤を確立した上で事業推進を図ることも必要であると考えます。

現在、産業構造審議会・中央環境審議会合同会議において、自動車リサイクル法 10 年目の制度見直しに向けた 3R の高度化を見据えた議論が交わされており、自動車リサイクルを担う解体業者の皆さまの役割はますます重要になってきているものと認識いたしております。

加えて、3 年目がスタートした「自動車リサイクル士制度」が同合同会議において「非常に重要な取組み」との評価を受けられたことは、今後、更なる発展に繋がるものと考えております。

当機構も皆さまと自動車メーカー等を繋ぐ良きパートナーとして、自動車リサイクル産業の健全で永続的な発展のために、フロン類・エアバッグ類に関する的確な情報発信と適正処理の推進活動に努めることで、貴機構並びに全国の解体業者の皆さまにフロン類・エアバッグ類の適正処理の輪が広められることを切に願っております。

最後に、自動車リサイクル業界を牽引する役割を担う団体として引き続き強力に推進していただけることを期待するとともに、日本 ELV リサイクル機構の益々のご発展並びに会員の皆さまの益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

一般社団法人 日本 ELV リサイクル機構

# 平成 27 年度 定期社員総会 次第

平成 27 年 6 月 11 日 (木曜日)

TKP 東京駅日本橋カンファレンスセンター ホール 2A

13 : 00 ~ 14 : 00

司会 総務部会

1. 開会挨拶
2. 資料／定数確認
3. 代表理事挨拶
4. 議長選任 (※議長は定款 16 条第 1 項により代表理事が就きます)
5. 議案審議
  - 1号議案 平成 26 年度事業報告
    - 1) 第 10 期事業報告概要
    - 2) 部会活動報告
    - 3) 委員会活動報告
    - 4) ブロック活動報告
    - 5) 収支報告・監査報告
  - 2号議案 平成 27 年度事業計画 (案)
    - 1) 第 11 期事業計画概要
    - 2) 部会活動計画
    - 3) 委員会活動計画
    - 4) ブロック活動計画
    - 5) 組織・人事
    - 6) 収支計画
6. 閉会挨拶

# 1号議案 平成26年度事業報告

- 1) 第10期事業報告概要
- 2) 部会活動報告
- 3) 委員会活動報告
- 4) ブロック活動報告
- 5) 収支報告・監査報告

# 1) 第 10 期事業報告概要

一般社団法人 日本 ELV リサイクル機構  
代表理事 河村 二四夫

第 10 期事業の概要を以下にまとめます。ここに記載されている内容のほか、多岐にわたる活動が実施されましたが、詳細は各部門からの報告に委ねます。

## 1. 自動車リサイクル士制度について

- 平成 25 年度に引き続き、「自動車リサイクル士制度」(平成 25 年度創設)にもとづく認定講習会を開催した。
- 開催実績：全国 8 ブロック 9 会場で開催
- 受講実績：310 名 (平成 25 年度と合わせると受講者総数は約 1,000 名)

## 2. 資源循環への取り組みについて

### 環境省受託事業「低炭素型 3R 技術・システム実証事業」

- 目的：自動車に含まれるプラスチックを回収・リサイクルすることによる天然資源代替の効果やリサイクルプロセスの改善によるエネルギー使用量の削減
- 実績：関東ブロック及び中国・四国ブロックの ELV 機構会員 54 事業所 (11 団体) が参加

### 貴金属類の共同出荷事業

- 概要：平成 23 年度～25 年度の環境省請負事業を通じて確立した全国にわたる回収スキームを活かし、ELV 機構独自の共同出荷事業として資源循環促進に向けた活動を継続
- 実績：全国の ELV 機構会員 227 事業所 (33 団体) が参加

## 3. 自動車補修用リサイクル部品の規格策定

- 自動車補修用リサイクル部品の安心安全をユーザーへ理解してもらう手段として、業界全体共通の規格を策定するための検討を実施した。

## 4. 自動車リサイクル法関連活動

- 平成 26 年 8 月より定期的に行われている産構審・中環審合同会議において、自動車リサイクル法 10 年目の見直しに向けた業界意見の提案を行い、現在も議論は継続中である。

## 本部活動実績

役員及び事務局の活動実績は、以下のとおりです。なお、部会、委員会、ブロック・地域（ブロック会議や各加盟団体総会への参加等）に関する活動実績は、各部門からの報告参照とし、割愛させていただきます。

日付	会議・催事等の名称	主な内容
2014年 4月3日	第3回 自動車リサイクル 関係団体打ち合わせ	場 所：東京都港区／ELV 機構会議室 概 要：業界の抱える諸問題解決に向けた検討
2014年 4月4日	自動車再資源化協力 機構との打ち合わせ	場 所：東京都港区／ELV 機構会議室 概 要：自動車再資源化協力機構の新組織 体制の説明
2014年 4月17日	トヨタ自動車株式会社 との打ち合わせ	場 所：東京都文京区／トヨタ自動車東京本社 概 要：自動車リサイクル法の見直しの議論に 関する打ち合わせ
2014年 4月25日	第1回 常任役員会	場 所：東京都港区／ELV 機構会議室 議 題：1. 回収高度化事業の報告 2. 決算・予算案に関する検討 …など
2014年 5月7日 ～ 5月16日	ポーランドの解体業者 によるスタディツアー	概 要：ポーランドの解体業者団体が来日する にあたって、ELV 機構が会員事業所の 見学・意見交換を設定 訪問先：株式会社河村自動車工業 株式会社ユーパーツ 株式会社シーパーツ
2014年 5月15日	第4回 自動車補修用 リサイクル部品の規格 策定に関する研究会	場 所：東京都千代田区／経済産業省 議 題：1. 開催の趣旨について 2. 自動車補修用リサイクル部品の 現状と課題について …など (※長谷川副代表理事が委員として出席)
2014年 5月20日	会計監査	場 所：東京都港区／ELV 機構会議室 概 要：監事2名による会計監査
〃	予算策定等に関する 打ち合わせ	場 所：東京都港区／ELV 機構会議室 概 要：予算策定・役員人事などに関する 打ち合わせ
2014年 5月23日	日本自動車車体工業会 通常総会懇親会	場 所：東京都港区／グランドプリンスホテル高輪 概 要：懇親会出席

2014年 5月28日	自動車リサイクル制度 に関するヒアリング	場 所：東京都千代田区／経済産業省 概 要：産構審・中環審合同会議に向けた経済 産業省、環境省からのヒアリング
2014年 5月29日	第4回 自動車リサイクル 関係団体打ち合わせ	場 所：東京都港区／ELV 機構会議室 概 要：業界の抱える諸問題解決に向けた検討
"	第2回 常任役員会	場 所：東京都港区／ELV 機構会議室 議 題：1. 経済産業省との意見交換 2. 総会資料、当日の進行・役割分担に ついて …など
"	自動車再資源化協力 機構 設立10周年 記念懇親パーティー	場 所：東京都千代田区／大手町サンケイプラザ 概 要：懇親パーティー出席
2014年 5月30日	印刷会社との打ち合わせ	場 所：東京都港区／ELV 機構会議室 概 要：総会資料印刷に関する打ち合わせ
"	自動車再資源化協力 機構との打ち合わせ	場 所：東京都港区／ELV 機構会議室 概 要：リコールエアバッグの引取工程時の 表示について
2014年 6月3日	自動車リサイクル 研究所訪問	場 所：愛知県半田市／豊田メタル株式会社 自動車リサイクル研究所 概 要：自動車リサイクルに関する意見交換
2014年 6月5日	日本中古自動車販売 協会連合会 定時総会懇親会	場 所：東京都港区／東京プリンスホテル 概 要：懇親会出席
2014年 6月11日	トヨタ自動車株式会社 との打ち合わせ	場 所：東京都港区／ELV 機構会議室 概 要：エアバッグリコール届出に関する説明
2014年 6月12日	臨時理事会	場 所：東京都港区／ELV 機構会議室 議 題：1. 人事（案）について 2. 総会進行（案）の確認 …など
"	定期社員総会	場 所：東京都港区／田中田村町ビル 構 成：1. 定期社員総会 2. 会員交流会 3. 懇親会
2014年 6月17日	東北大学セミナー 打ち合わせ	場 所：東京都港区／ELV 機構会議室 概 要：東北大学主催「自動車のリサイクルに 関するセミナー」に向けた打ち合わせ

2014年 6月23日	マツダ株式会社・日産自動車株式会社との打ち合わせ	場 所：東京都港区／ELV 機構会議室 概 要：エアバッグリコール届出に関する説明
2014年 6月26日	第3回 常任役員会	場 所：東京都港区／ELV 機構会議室 議 題：1. 環境省事業への応募について 2. リサイクル部品の規格策定に向けた対応について …など
2014年 7月1日	第1回 三役会	場 所：東京都港区／ELV 機構会議室 議 題：1. JICA 事業の説明（JICA より） 2. 補修用部品の規格化の説明（経済産業省より） …など
2014年 7月4日	自動車リサイクル促進センター 見学研修打ち合わせ	場 所：東京都港区／ELV 機構会議室 概 要：自動車リサイクル促進センターの見学研修での訪問先に関する打ち合わせ
2014年 7月11日	経済産業省との打ち合わせ	場 所：東京都千代田区／経済産業省 概 要：日本オートオークション協議会との情報交換会に関する打ち合わせ
2014年 7月12日	「自動車のリサイクルに関するセミナー」 （主催：東北大学） （協賛：ELV 機構）	場 所：宮城県仙台市／東北大学 講 演：使用済自動車からの貴金属等回収のポイント（発表者：ELV 機構）
2014年 7月15日	第5回 自動車補修用リサイクル部品の規格策定に関する研究会	場 所：東京都千代田区／経済産業省 議 題：1. 提供する情報について 2. 識別・表示について …など （※長谷川副代表理事が委員として出席）
2014年 7月28日	日本オートオークション協議会との情報交換会	場 所：東京都中央区／日本オートオークション協議会事務局 概 要：オークションにおいて流札した車両の取り扱いに関する情報交換
〃	環境省との打ち合わせ	場 所：東京都港区／ELV 機構会議室 概 要：巨大地震発生時における円滑な災害廃棄物の処理のための協力依頼
2014年 7月29日	第2回 三役会	場 所：東京都港区／ELV 機構会議室 議 題：1. 産構審・中環審合同会議の対応 2. 規格策定に向けた対応 …など

2014年 7月29日	日本自動車工業会 との打ち合わせ	場 所：東京都港区／日本自動車会館 概 要：自動車リサイクル法見直しに関する ELV 機構の考え方説明
2014年 8月8日	第4回 常任役員会	場 所：東京都港区／ELV 機構会議室 議 題：1. 環境省事業について 2. 共同出荷事業について …など
〃	経済産業省との 打ち合わせ	場 所：東京都港区／ELV 機構会議室 概 要：経営実態調査の報告
2014年 8月21日	産構審・中環審 第32回 合同会議	場 所：東京都千代田区／経済産業省 議 題：1. 自動車リサイクル法の施行状況等に ついて 2. 自動車リサイクル制度の評価・検討 について …など (※河村代表理事が委員として出席)
2014年 8月28日	本田技研工業株式会社 との打ち合わせ	場 所：東京都港区／ELV 機構会議室 概 要：資源循環に関するご相談
2014年 9月4日	経済産業省による 事業所訪問	概 要：経済産業省による現場訪問・意見交換 訪問先：京葉自動車工業株式会社 アール・ループ株式会社 栗山自動車工業株式会社
2014年 9月11日	第3回 三役会	場 所：東京都港区／ELV 機構会議室 議 題：1. 産構審・中環審合同会議の報告 2. 規格策定に向けた対応 …など
2014年 9月25日	第1回 平成26年度 巨大地震発生時に おける災害廃棄物 対策検討委員会	場 所：東京都千代田区／フクラシア東京 ステーション 議 題：1. 災害廃棄物関連の主な国の動きに ついて 2. これまでの取り組みについて…など
2014年 10月2日	産構審・中環審 第33回 合同会議	場 所：東京都千代田区／フクラシア東京 ステーション 議 題：1. 引取業者、流通業者に対する ヒアリング 2. 今後のヒアリングの進め方について …など (※河村代表理事が委員として出席)

2014年 10月9日	第4回 三役会	場 所：東京都港区／ELV 機構会議室 議 題：1. 産構審・中環審合同会議の対応 2. 共同出荷事業について …など
2014年 10月18日	JTP 定時総会懇親会	場 所：大阪府大阪市／ホテル大阪ベイタワー 概 要：懇親会出席
2014年 10月21日	関東地方環境事務所 との打ち合わせ	場 所：東京都港区／ELV 機構会議室 概 要：不適正事例の周知依頼
2014年 10月24日	日産自動車株式会社 との打ち合わせ	場 所：東京都港区／ELV 機構会議室 概 要：エアバッグリコール届出に関する説明
2014年 10月25日	日本自動車リサイクル 研究所に関する打ち 合わせ	場 所：東京都港区／ELV 機構会議室 概 要：スケジュール・事業内容・体制などに 関する検討
2014年 10月27日	NGP 定期総会懇親会	場 所：東京都品川区／品川プリンスホテル 概 要：懇親会出席
2014年 10月30日	日本自動車工業会・ 自動車再資源化協力 機構との打ち合わせ	場 所：東京都港区／ELV 機構会議室 概 要：ISO ツール販売・周知準備状況や 未処理エアバッグ対応資料の説明
2014年 11月11日	産構審・中環審 第34回 合同会議	場 所：東京都千代田区／経済産業省 議 題：1. 自動車製造業者等に対するヒアリング 2. 前回の質問・意見と各団体による 回答 …など (※河村代表理事が委員として出席)
”	経済産業省との 打ち合わせ	場 所：東京都千代田区／経済産業省 概 要：業界実態調査の説明
2014年 11月13日	産構審・中環審合同 会議資料の事前説明	場 所：東京都千代田区／経済産業省 概 要：経済産業省・環境省への事前説明
”	モンゴル自動車リサイ クル協会会長と面談	場 所：東京都港区／ELV 機構会議室 概 要：モンゴルにおける自動車リサイクル 発展への協力依頼
2014年 11月14日	第2回 平成26年度 巨大地震発生時に おける災害廃棄物 対策検討委員会	場 所：東京都千代田区／TKP ガーデンシティ 永田町 議 題：1. 巨大災害発生時における災害廃棄物 に係る対策スキームについて 2. アーカイブス検討WGでの検討状況 について …など

2014年 11月22日	東日本自動車解体 処理協同組合 総会懇親会	場 所：東京都千代田区／全国町村会館 概 要：懇親会出席
2014年 11月24日	産構審・中環審合同 会議の事前打ち合わせ	場 所：東京都港区／ELV 機構会議室 概 要：産構審・中環審合同会議の事前打ち 合わせ
2014年 11月25日	産構審・中環審 第35回 合同会議	場 所：東京都千代田区／大手町サンスカイ ルーム 議 題：1. 関連事業者等に対するヒアリング 2. その他 …など (※ELV 機構がヒアリング対象として発表) (※河村代表理事が委員として出席)
2014年 12月10日	第3回 平成26年度 巨大地震発生時に おける災害廃棄物 対策検討委員会	場 所：東京都中央区／AP 東京八重洲通り 議 題：1. 技術・システム検討WGでの検討 状況について 2. 巨大災害発生時における災害廃棄物 対策スキームについて …など
2014年 12月12日	ケニア独立51年式典	場 所：東京都品川区／東京マリオットホテル 概 要：式典参加
2014年 12月22日	日本保安炎筒工業会 との打ち合わせ	場 所：東京都港区／ELV 機構会議室 概 要：発煙筒の回収スキーム運用状況報告
2014年 12月25日	JICAとの打ち合わせ	場 所：東京都港区／ELV 機構会議室 概 要：海外事業展開の可能性に関する説明
2015年 1月6日	自動車工業団体新春 賀詞交歓会	場 所：東京都港区／ホテルオークラ東京 概 要：賀詞交歓会への参加
2015年 1月7日	マツダ株式会社・本田 技研工業株式会社との 打ち合わせ	場 所：東京都港区／ELV 機構会議室 概 要：エアバッグ調査回収の説明
2015年 1月8日	年始挨拶回り	概 要：年始挨拶 訪問先：関係団体各所
2015年 1月14日	産構審・中環審 第36回 合同会議	場 所：東京都港区／航空会館 議 題：1. 地方公共団体、指定法人に対する ヒアリング 2. その他 …など (※河村代表理事が委員として出席)

2015年 1月27日	日本自動車リサイクル 部品協議会 定時社員総会懇親会	場 所：東京都港区／第一ホテル東京 概 要：懇親会出席
2015年 1月28日	JICA との打ち合わせ	場 所：東京都港区／ELV 機構会議室 概 要：海外事業展開の可能性に関する説明
〃	BEST 新年合同祝賀会	場 所：東京都中央区／鉄鋼会館 概 要：祝賀会出席
2015年 1月29日	第1回 自動車リサイ クルサミット	場 所：東京都港区／芝パークホテル 概 要：自動車業界関係者として討議に参加
2015年 2月3日	第4回 平成26年度 巨大地震発生時に おける災害廃棄物 対策検討委員会	場 所：東京都千代田区／ステーションコン ファレンス東京 議 題：1. 巨大災害発生時における災害廃棄物 に係る対策スキームについて 2. 巨大災害発生時における災害廃棄物 対策行動指針の位置づけ（案）等に ついて …など
2015年 2月10日	JETRO セミナー	場 所：東京都港区／政策研究大学院大学 概 要：講座「国際リユースと発展途上国」参加
2015年 2月17日	産構審・中環審 第37回 合同会議	場 所：東京都千代田区／大手町サンスカイ ルーム 議 題：1. 自動車リサイクル法の評価・検討に 当たったの論点整理について 2. これまでに出示された質問・意見への 回答について …など （※河村代表理事が委員として出席）
〃	豊田メタル株式会社 との打ち合わせ	場 所：東京都港区／ELV 機構会議室 概 要：FCV 車の処理に関する打ち合わせ
2015年 2月20日	経済産業省との 打ち合わせ	場 所：東京都千代田区／経済産業省 概 要：ASEANにおける自動車リサイクル調査 に関する打ち合わせ
2015年 2月23日	経済産業省との 打ち合わせ	場 所：東京都千代田区／経済産業省 概 要：東北大学と ELV 機構の協力内容の報告
2015年 2月24日	自動車再資源化協力 機構との打ち合わせ	場 所：東京都港区／日本自動車会館 概 要：自動車リサイクル士制度に関する打ち 合わせ

2015年 3月9日	自動車技術会への報告	場 所：東京都千代田区／自動車技術会本部 概 要：環境省事業の報告
2015年 3月11日 ～ 3月13日	第13回 国際オート アフターマーケット EXPO	場 所：東京都江東区／東京ビッグサイト 概 要：ELV 機構ブースの出展
2015年 3月12日	JARA グループ・株式 会社 JARA 総会懇親会	場 所：東京都港区／ホテル JAL シティ田町東京 概 要：懇親会出席
2015年 3月17日	トヨタ自動車株式会社 との打ち合わせ	場 所：東京都港区／ELV 機構会議室 概 要：FCV 車に関する打ち合わせ
〃	経済産業省との 打ち合わせ	場 所：東京都千代田区／経済産業省 概 要：産構審・中環審合同会議の資料に関する 打ち合わせ
2015年 3月24日	第5回 平成26年度 巨大地震発生時に おける災害廃棄物 対策検討委員会	場 所：東京都中央区／AP 東京八重洲通り 議 題：1. 制度的課題の対応状況について 2. アーカイブ検討WG、技術・システム 検討WG での検討状況について …など
2015年 3月25日	産構審・中環審 第38回 合同会議	場 所：東京都千代田区／大手町サンスカイ ルーム 議 題：1. 自動車における3Rの推進・質の 向上についての論点整理 2. その他 …など (※河村代表理事が委員として出席)
2015年 3月27日	日本自動車工業会 との打ち合わせ	場 所：東京都港区／ELV 機構会議室 概 要：CFRP ボディーの処理に関する説明
〃	第5回 三役会	場 所：東京都港区／ELV 機構会議室 議 題：1. 平成27年度主要事業について 2. 日本自動車リサイクル研究所について 3. 収支状況及び収支計画について …など

## 2) 部会活動報告

### 平成 26 年度 総務部会 活動報告

部会長 木内 雅之

#### 1. 活動実績

日付	会議・催事等の名称	主な内容
2014 年 10 月 15 日	第 1 回 総務部会	1. ブロック活動費について 2. 規約・規定について 3. バナー広告募集について 4. 予算について 5. その他

#### 2. 活動報告

- バナー広告の募集  
ELV 機構のホームページにおけるバナー広告について、対象を全会員に拡大して募集を行った。
- ブロック活動費の請求に関する検討  
平成 26 年度よりブロック活性化を図るため、ブロック活動費を支給することになり、その用途や請求方法に関する取り決めを行った。

# 平成 26 年度 ブロック長会 活動報告

ブロック長会議長 平地 健

## 1. 活動実績

日付	会議・催事等の名称	主な内容
2014 年 8 月 26 日	第 1 回 ブロック長会議	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 経済産業省との意見交換<ul style="list-style-type: none"><li>・自動車補修用リサイクル部品の規格策定について</li></ul></li><li>2. ELV 機構本部からの報告<ul style="list-style-type: none"><li>・産構審・中環審合同会議について</li><li>・環境省事業について …など</li></ul></li><li>3. ブロック活動に関する審議<ul style="list-style-type: none"><li>・ブロック活動報告</li><li>・今後の活動に関する検討 …など</li></ul></li></ol>
2014 年 11 月 25 日	第 2 回 ブロック長会議	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 自動車再資源化協力機構との意見交換<ul style="list-style-type: none"><li>・ISO ツール適正作業 DVD について</li></ul></li><li>2. 講演／前ブロック長会議長 金澤 壽幸 様</li><li>3. 近況報告<ul style="list-style-type: none"><li>・本部活動報告</li><li>・各ブロック活動報告</li></ul></li><li>4. 今後の活動に関する検討<ul style="list-style-type: none"><li>・各日程の決定 …など</li></ul></li></ol>
2015 年 2 月 24 日	第 3 回 ブロック長会議	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 講演／前顧問 今城 高之 様</li><li>2. 各種報告<ul style="list-style-type: none"><li>・ブロック近況報告</li><li>・本部活動報告</li></ul></li><li>3. 平成 26 年度活動の総括<ul style="list-style-type: none"><li>・平成 26 年度ブロック長会議の振り返り</li><li>・平成 26 年度ブロック活動計画の振り返り</li></ul></li><li>4. 審議・協議事項<ul style="list-style-type: none"><li>・平成 27 年度ブロック長会議計画</li><li>・ブロック活動費について …など</li></ul></li></ol>

## 2. 活動報告

- ブロック長会内での役割分担

各ブロック長が明確な役割をもつことで、本部とブロックのスムーズな連携を図った。

役職・担当	氏名
ブロック長会議長	平地 健 東北ブロック長
副ブロック長会議長 (北海道～関東ブロック担当)	石上 剛 北海道ブロック長
副ブロック長会議長 (中部・北陸～沖縄ブロック担当)	高野 和憲 近畿ブロック長
リサイクル技術部会担当 (自動車リサイクル士制度認定講習会 企画・運営・開催担当)	金森 幸元 中部・北陸ブロック長
リサイクル技術部会担当 (自動車リサイクル士制度講師育成担当)	古谷 一夫 中国・四国ブロック長
リサイクル技術部会担当 (安全作業指導員・インストラクター担当)	松田 和生 沖縄ブロック長
広報部会／トラック・バス部会担当	伊地知 志郎 九州ブロック長
総務部会／資源循環委員会担当	三枝 透 関東ブロック長

- 本部活動と各ブロックの情報共有

ブロック長会議において、毎回必ず、本部とブロック双方からの報告の時間を設け、本部とブロックがお互いの情報を共有できるよう心掛けた。

- 講演会の実施

ブロック長会議において、第2回から「機構の創設から現在まで～何を残し伝えたいか～」というテーマで講演会を実施した。

講師として歴代のELV機構の役員の方などをお招きし、これまでの歴史から現在に活かせるヒントをつかむことを目的としてご講演いただいた。

# 平成 26 年度 リユース部品部会 活動報告

部会長 長谷川 利彦

## 1. 活動実績

日付	会議・催事等の名称	主な内容
2014 年 9 月 19 日	第 1 回 規格策定準備委員会	1. 業界における検討体制の検討 2. 規格策定に向けた考え方の確認及び 策定する規格の概要整理 3. 経済産業省支援制度の活用の準備 4. 原案作成委員会の選任について …など
2014 年 10 月 2 日	第 1 回 規格策定準備 W/G	1. 標準化担当部署への事前相談資料の確認 2. 支援制度への提案について …など
2014 年 10 月 17 日	自動車リサイクル部品の規格化に関する打ち合わせ	標準化委託事業におけるテーマの提案に向けた経済産業省との打ち合わせ
2014 年 10 月 25 日	第 2 回 規格策定準備委員会	1. 標準化担当部署への事前相談の報告 2. 指摘を踏まえた提案内容の検討 …など
2014 年 10 月 31 日	自動車リサイクル部品の規格化に関する打ち合わせ	標準化委託事業におけるテーマの提案に向けた経済産業省との打ち合わせ
2014 年 11 月 4 日	自動車リサイクル部品の規格化に関する打ち合わせ	標準化委託事業におけるテーマの提案に向けた経済産業省との打ち合わせ
2014 年 11 月 6 日	自動車リサイクル部品の規格化に関する打ち合わせ	標準化委託事業におけるテーマの提案に向けた経済産業省との打ち合わせ
2015 年 3 月 26 日、ELV 機構提案のテーマで標準化委託事業の公募が開始		
2015 年 3 月 30 日	自動車リサイクル部品の規格化に関する打ち合わせ	標準化委託事業への応募に関する打ち合わせ

## 2. 活動報告

- 自動車補修用リサイクル部品の規格策定に向けた検討  
経済産業省の主催する「自動車補修用リサイクル部品の規格策定に関する研究会」の中間報告を踏まえ、業界団体として自動車補修用リサイクル部品の規格策定に向けた取り組みのための検討を開始した。
- 「標準化委託事業」へのテーマ提案  
経済産業省が公募する「標準化委託事業」について、テーマ内容を検討し、「自動車補修用リサイクル部品のラベリングに関する JIS の開発」というテーマで提案を行った。その結果、同テーマで公募が開始されたため、事業応募に向けた検討を進めた。

# 平成 26 年度　トラック・バス部会　活動報告

部会長　宮本　眞希

## 1. 活動実績

日付	会議・催事等の名称	主な内容
2014 年 4 月より順次	協力事業者制度参加 事業者リストの周知 活動	商用車架装物自主取組の一環として行われている 協力事業者制度参加事業者リストが更新された ため、資料配布によって周知を図った。
2014 年 5 月 23 日	日本自動車車体工業会 総会懇親会	グランドプリンスホテル高輪「クラウンルーム」 (東京都品川区) で開催された総会懇親会に 参加した。
2014 年 6 月 6 日	トラック架装物 解体作業見学会 並びに意見交換会	商用車架装物自主取組の一環として、行政・ メーカー・解体事業者とで解体作業を見ながら 意見交換を実施した。 ■場所 株式会社シーパーツ山口工場 (山口県美祢市) ■参加者 29 名 (環境省、日本自動車工業会、日本自動車車体 工業会、JTP からの参加者を含む)
2014 年 6 月 24 日	自工会・車工会との 情報・意見交換会	日本自動車工業会・日本自動車車体工業会との 連携を深めるため、情報・意見交換会を開催した。 ■場所 ELV 機構会議室 ■参加者 16 名 (日本自動車工業会、日本自動車車体工業会、 JTP からの参加者を含む)

<p>2014 年 11 月 21 日</p>	<p>メーカー工場見学会</p>	<p>日本自動車工業会・日本自動車車体工業会との連携を深めるため、メーカー工場見学会を開催した。</p> <p>■見学先</p> <p>自動車メーカー ：いすゞ自動車株式会社 藤沢工場</p> <p>車体メーカー ：日本フルハーフ株式会社 本社工場</p> <p>■参加者</p> <p>35 名 (日本自動車工業会、日本自動車車体工業会、JTP からの参加者を含む)</p>
-----------------------------	------------------	--

## 2. 活動報告

- 日本トラックリファインパーツ協会（JTP）との協力  
日本トラックリファインパーツ協会（JTP）とともに協力して、広報活動を実施した。

# 平成 26 年度 リサイクル技術部会 活動報告

部会長 三木 康弘

## 1. 活動実績

日付	会議・催事等の名称	主な内容
2014 年 4 月 24 日	第 1 回 リサイクル技術部会	1. 平成 25 年度事業報告について 2. 平成 26 年度事業計画について 3. 講師養成講習会について
2014 年 5 月 30 日	第 2 回 リサイクル技術部会	1. 平成 26 年度事業計画について 2. 講師養成講習会（6/13）の概要及び当日の 設営について 3. 実務士・管理士要請講習会の新料金体系 （案）について 4. リハーサル研修会の開催について 5. 平成 27 年度自動車リサイクル士制度認定 講習会更新講習について
2014 年 6 月 13 日	講師養成講習会	自動車リサイクル士制度認定講習会の講師を 対象とした講師養成用講習会
2014 年 8 月 7 日	第 3 回 リサイクル技術部会	1. 平成 27 年度自動車リサイクル士制度認定 講習会更新講習について 2. 認定講習会における会員外への展開・講師の 日当・法令集の扱いについて
2014 年 10 月 8 日	第 4 回 リサイクル技術部会	1. 平成 27 年度自動車リサイクル士制度認定 講習会の展開について 2. 平成 27 年度自動車リサイクル士制度認定 講習会更新講習内容及びカリキュラムについて 3. 平成 27 年度のテキストについて
2014 年 12 月 19 日	第 5 回 リサイクル技術部会	1. 平成 27 年度自動車リサイクル士制度認定 講習会開催について 2. 平成 27 年度自動車リサイクル士制度認定 講習会新規講習及び更新講習について 3. 平成 27 年度テキストについて

2014年 12月19日	第6回 自動車リサイクル士 制度 関係者検討会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平成26年度自動車リサイクル士制度認定講習会経過報告</li> <li>2. 平成27年度自動車リサイクル士制度認定講習会開催について（新規講習・更新講習）</li> <li>3. 認定講習会への協力依頼等について</li> </ol>
2015年 1月22日	第6回 リサイクル技術部会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平成27年度自動車リサイクル士制度認定講習会開催日程について</li> <li>2. 平成27年度自動車リサイクル士制度認定講習会タイムスケジュールについて</li> <li>3. 平成27年度テキストについて</li> </ol>
2015年 2月23日	第7回 リサイクル技術部会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自動車リサイクル士制度の今後の方向性について</li> <li>2. 平成27年度更新講習・新規講習・講師養成講習会の中身について</li> <li>3. 関係者検討会について</li> </ol>
2015年 2月23日	第7回 自動車リサイクル士 制度 関係者検討会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自動車リサイクル士テキスト改訂に関する意見交換</li> </ol>

## 2. 活動報告

### ● 自動車リサイクル士制度認定講習会の実施

平成25年度から開始している自動車リサイクル士制度認定講習会を、平成26年度においても引き続き開催した。平成26年度より、管理士に加え、実務士上級及び実務士初級の講習を全国で開始した。

講習会は全国8ブロック9会場で開催され、延べ310名の受講者（管理士207名、実務士上級65名、実務士初級38名）、行政及び関係者を含めると延べ473名の参加者があった。

### ● エアバッグ車上作動処理新規契約事業者安全作業指導の実施

「エアバッグ車上作動処理新規契約事業者安全作業指導」は、自動車再資源化協力機構から受託しているものであり、ELV機構のインストラクター制度によってエアバッグ類の適正処理に習熟した会員事業所の従業員から選ばれた「安全作業指導員」による安全作業指導を実施した。

（平成26年度：各ブロックの「安全作業指導員」17名体制で実施）

(1) 安全作業指導実績件数

指導地域		件数
東北	秋田県	1 件
	福島県	2 件
関東	茨城県	1 件
	埼玉県	1 件
中部北陸	岐阜県	2 件
近畿	京都府	1 件
	兵庫県	1 件
中国四国	高知県	1 件
九州	福岡県	1 件
	大分県	1 件
	宮崎県	1 件
	鹿児島県	1 件
沖縄	沖縄県	1 件
合計		15 件

平成 26 年度=15 件 (平成 25 年度=13 件)

(2) 受託件数及び実施件数

前年度繰越件数
1 件
新規受託件数
18 件
平成 26 年度指導実施件数
15 件
受託残件数
4 件

〔 受託後、中止・取消に  
なったもの含まず 〕

# 平成 26 年度 広報部会 活動報告

部会長 永田 則男

## 1. 活動実績

日付	会議・催事等の名称	主な内容
2014 年 4 月 14 日	第 1 回 広報部会	1. 自動車再資源化協力機構との情報交換会 2. 編集会議 ・次号ニュースレターについて 3. その他 ・今後のスケジュールについて
2014 年 5 月 13 日	第 2 回 広報部会	1. 自動車再資源化協力機構との情報交換会 2. 編集会議 ・次号ニュースレターについて 3. その他 ・平成 25 年度活動報告について ・平成 26 年度活動計画（案）について
2014 年 6 月 18 日	第 3 回 広報部会	1. 自動車再資源化協力機構との情報交換会 2. 編集会議 ・次号ニュースレターについて 3. その他 ・平成 26 年度の活動内容について ・ニュースレターの公開範囲について
2014 年 7 月 15 日	第 4 回 広報部会	1. 編集会議 ・次号ニュースレターについて 2. その他 ・ブロック会議への参加について 3. 自動車再資源化協力機構との情報交換会 4. 自動車リサイクル促進センターからのヒアリング ・自動車リサイクルシステムについて
2014 年 8 月 21 日	第 5 回 広報部会	1. 編集会議 ・次号ニュースレターについて 2. その他 ・ニュースレターの公開範囲について

2014年 9月18日	第6回 広報部会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自動車再資源化協力機構との情報交換会</li> <li>2. 編集会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>・次号ニュースレターについて</li> </ul> </li> <li>3. その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ上での活動周知について</li> </ul> </li> </ol>
2014年 10月21日	第7回 広報部会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 編集会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>・次号ニュースレターについて</li> <li>・外部からの寄稿記事について</li> </ul> </li> <li>2. その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページの変更について</li> </ul> </li> <li>3. 自動車再資源化協力機構との情報交換会</li> </ol>
2014年 11月18日	第8回 広報部会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 編集会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>・次号ニュースレターについて</li> <li>・外部からの寄稿記事について</li> </ul> </li> <li>2. その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページの内容について</li> </ul> </li> <li>3. 自動車再資源化協力機構との情報交換会</li> </ol>
2014年 12月16日	第9回 広報部会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自動車再資源化協力機構との情報交換会</li> <li>2. 編集会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページの内容について</li> <li>・外部からの寄稿記事について</li> </ul> </li> <li>3. その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度における活動の検証</li> </ul> </li> </ol>
2015年 1月14日	第10回 広報部会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 編集会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページの内容について</li> <li>・外部への取材について</li> </ul> </li> <li>2. その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページの内容について</li> </ul> </li> </ol>
2015年 2月17日	第11回 広報部会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ホームページリニューアル（案）のプレゼンテーション</li> <li>2. 編集会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページの内容について</li> <li>・外部への取材について</li> </ul> </li> <li>3. その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・議事録の扱いについて</li> </ul> </li> </ol>

2015 年 3 月 17 日	関係団体への取材	取材先：NPO 法人 持続可能な社会をつくる 元気ネット 事務局長 鬼沢 良子 様 場 所：廃棄物・3R 研究財団 8 階会議室 (東京都墨田区両国) ※取材内容：ニュースレターVol.74・75 に掲載。
”	第 12 回 広報部会	1. ホームページリニューアル（案）の プレゼンテーション 2. 編集会議 ・ホームページの内容について ・外部への取材について 3. その他 ・議事録の扱いについて

## 2. 活動報告

### ● 「ELV ニュースレター」の作成・配信

「ELV ニュースレター」を毎月作成して月末に配信。

平成 26 年度より、多くの方々に ELV 機構の活動内容を知ってもらうため、ホームページにて最新号を公開。（以前は会員専用ページでのみ閲覧可能）  
また、平成 26 年度は、密度の濃い紙面作りを目標として、関係団体からの情報や外部からの寄稿記事を積極的に取り入れた。

Vol.63：自動車再資源化協力機構との対談記事を掲載

Vol.71：熊本大学外川健一教授からの寄稿記事を掲載 …など。

### ● 「事務局だより」の配信

毎週水曜日にメールマガジンの形で「事務局だより」を配信。

平成 25 年度から引き続き、平成 26 年度も祝日等を除いて毎週配信を行い、平成 27 年 1 月 28 日配信分で第 100 号を迎えた。

### ● 情報収集・取材活動

部会内で定期的に自動車再資源化協力機構の方々との情報交換会を開催。

「産業構造審議会・中央環境審議会 合同会議」や「自動車補修用リサイクル部品の規格策定に関する研究会」など、自動車リサイクルに関わる会議に参加して取材活動を行い、また、関係団体への取材も実施した。

# 平成 26 年度 未来政策部会 活動報告

部会長 清水 道悦

## 1. 活動実績

日付	会議・催事等の名称	主な内容
2014 年 4 月 8 日	4 月期 未来政策部会	1. 今後の未来政策部会の具体的活動について
2014 年 6 月 11 日	6 月期 未来政策部会	1. 若手意見交換会の開催回数やメンバー等の詳細について
2014 年 9 月 3 日	9 月期 未来政策部会	1. 新委員の紹介 2. 副部会長の選任について 3. 各委員近況報告 4. 経済産業省からの報告 「自動車リサイクルに係る解体業者に対する経営実態等調査に関する概要報告」
2014 年 9 月 3 日	未来政策部会講演会	講 師：株式会社アーネスト 代表取締役 永塚 政義 様 演 題：「自動車リビルト部品の現状及び今後」 参加者：21 名
2014 年 12 月 3 日	12 月期 未来政策部会	1. 地元地域及び自社の近況報告 2. 経済産業省 金澤室長との意見交換

## 2. 活動報告

- 近況報告会実施  
各地域から集まった委員の近況報告を行った。
- 講演会の実施  
株式会社アーネストの代表取締役である永塚様にご講演いただき、自動車リビルト部品の生産・販売や海外拠点生産について、国内と海外の視点から学ぶことができた。

### 3) 委員会活動報告

#### 平成 26 年度 資源循環委員会 活動報告

委員長 保坂 勇

#### 1. 活動実績

※ 環境省受託事業「平成 26 年度低炭素型 3R 技術・システム実証事業」の実施に伴い、資源循環委員会の委員を主として「事業検討委員会」を設置した。  
このため、本項には、同委員会の実績も併記することとする。

日付	会議・催事等の名称	主な内容
2014 年 4 月 3 日	JX 金属商事株式会社 との打ち合わせ	昨年度の回収高度化事業の総括
2014 年 4 月 10 日	横浜金属商事株式会社 との打ち合わせ	貴金属類の取引条件等に関する説明
2014 年 4 月 16 日	第 1 回 資源循環委員会	1. 平成 26 年度の活動について 2. 平成 25 年度回収高度化事業の指針について
”	東北大学との 打ち合わせ	電気パルス破碎による実験結果の報告
2014 年 6 月 24 日	ガラス再資源化協議会 との打ち合わせ	環境省受託事業に関する打ち合わせ
2014 年 8 月 7 日	第 2 回 資源循環委員会 (1 日目)	テーマ「環境省受託事業」 1. 事業概要の説明 2. アンケート調査の提案 3. 事業に関する意見交換 4. 連携先によるプレゼンテーション 5. 質疑応答
2014 年 8 月 8 日	第 2 回 資源循環委員会 (2 日目)	テーマ「共同出荷事業」 1. 事業概説明資料の確認 2. 未確定部分の検討 ・各回収物品における回収目標値の設定 ・精錬業者の選定 …など

2014年 8月27日	アサヒプリテック 株式会社との 打ち合わせ	共同出荷事業に関する打ち合わせ
2014年 9月5日	JX金属商事株式会社 との打ち合わせ	共同出荷事業に関する打ち合わせ
2014年 9月8日	株式会社三菱総合 研究所との 打ち合わせ	環境省受託事業に関する打ち合わせ
2014年 9月18日	環境省受託事業 第1回 事業検討委員会	1. 事業実施体制・スケジュールについて 2. プラスチックの分別・収集方法について (分別・収集作業にかかる時間等のデータ確認)
"	第3回 資源循環委員会	テーマ「共同出荷事業」 1. 精錬業者等引き渡し先の選定 2. その他
2014年 10月3日	オリックス環境株式 会社との打ち合わせ	共同出荷事業に関する打ち合わせ
2014年 10月10日	第4回 資源循環委員会	テーマ「共同出荷事業」 1. 事務局からの報告 2. 今後のスケジュールの確認・検討
"	環境省受託事業 関東ブロック説明会	環境省受託事業の説明
2014年 10月23日	環境省受託事業 中国ブロック説明会	環境省受託事業の説明
2014年 11月14日	東北大学との 打ち合わせ	東北経済産業局・東北大学が連携してELV リサイクルの高度化を目指すプロジェクトに おいて協力要請があり、打ち合わせを実施
2014年 11月28日	株式会社三菱総合 研究所との 打ち合わせ	環境省受託事業に関する打ち合わせ
2014年 12月12日	環境省受託事業 第2回 事業検討委員会	1. 事業進捗状況及び現時点での問題点の確認 2. 今後のスケジュールについて 3. アンケート調査について
2015年 1月15日	第5回 資源循環委員会	テーマ「共同出荷事業」 1. 事務局からの報告 2. フィードバックに関する検討

2015年 1月15日	環境省受託事業 第3回 事業検討委員会	1. 事業進捗状況の確認 2. 評価検討会での報告内容について 3. 事業報告書の目次（案）について
2015年 1月28日	3R技術・システム 実証事業評価検討会	環境省受託事業の報告
2015年 2月13日	東北大学との 打ち合わせ	東北経済産業局・東北大学が連携してELV リサイクルの高度化を目指すプロジェクトに おいて協力要請があり、打ち合わせを実施
2015年 2月18日	環境省受託事業 第4回 事業検討委員会	1. 事業結果確認及び事業全体の総括 2. 評価検討会での報告内容について 3. 事業報告書の内容について
”	第6回 資源循環委員会	テーマ「共同出荷事業」 1. 行政向け報告資料（案）の確認 2. 自動車リサイクル士テキストの内容検討 （資源循環に関する項目のみ） 3. アサヒプリテック株式会社との意見交換
2015年 2月28日	環境省事業 事業報告書の提出	株式会社三菱総合研究所に対し、環境省事業の 事業報告書を提出
2015年 3月25日	東北大学との 打ち合わせ	東北経済産業局・東北大学が連携してELV リサイクルの高度化を目指すプロジェクトに おいて協力要請があり、打ち合わせを実施

## 2. 活動報告

### ● 共同出荷事業の実施

平成 26 年度貴金属類の共同出荷事業（全国で実施）

参加数：33 団体 227 事業所

品目	目標値	実績値
1. コンピューター基板	9,500 kg	14,684 kg
アルミなし	—	12,757 kg
アルミあり	—	1,927 kg
2. エアバッグカプラー	870 kg	1,722 kg
3. センサー類	790 kg	4,083 kg
総計	11,160 kg	20,489 kg

### ● 環境省受託事業の実施

平成 26 年度低炭素型 3R 技術・システム実証事業

（関東ブロック及び中国・四国ブロックでのみ実施）

参加数：11 団体 54 事業所

品目	目標値	実績値
ポリプロピレン（PP） ※内装材やバンパーから回収	64,000 kg	85,632 kg

## 4) ブロック活動報告

### 平成 26 年度 北海道ブロック 活動報告

ブロック長 石上 剛

#### 1. 活動実績

日付	会議・催事等の名称	主な内容
2014 年 5 月 23 日	第 1 回 北海道ブロック会議 (北自協総会)	場 所：北海道札幌市／センチュリーロイヤルホテル 出席者：43 名 議 題：1. 平成 26 年度活動報告 2. 平成 27 年度活動計画 …など
2014 年 8 月 5 日	第 2 回 北海道ブロック会議	場 所：北海道札幌市／北自協 事務局 出席者：16 名 議 題：1. 活動報告と今後について …など
2014 年 9 月 11 日 12 日	自動車リサイクル士 制度認定講習会	場 所：北海道札幌市／TKP ガーデンシティ札幌駅前 出席者：44 名（内行政 4 名、業界関係 8 名）
2014 年 11 月 15 日	第 3 回 北海道ブロック会議	場 所：北海道札幌市／TKP ガーデンシティ札幌駅前 出席者：16 名 議 題：1. 共同出荷事業の報告について…など
2015 年 3 月 24 日	第 4 回 北海道ブロック会議	場 所：北海道札幌市／北自協 事務局 出席者：17 名 議 題：1. 活動報告 …など

#### 2. 活動報告

- 貴金属類の共同出荷事業への参加（参加事業所数 33 社）

回収物品重量合計	5,105 kg
・コンピューター基板（アルミ無）	3,361 kg
・コンピューター基板（アルミ有）	576 kg
・エアバックカプラー	453 kg
・センサー類	715 kg

# 平成 26 年度 東北ブロック 活動報告

ブロック長 平地 健

## 1. 活動実績

日付	会議・催事等の名称	内容
2014 年 4 月 22 日	第 1 回 東北ブロック会議	場 所：宮城県仙台市／パレスへいあん 出席者：13 名 議 題：1. 平成 26 年度活動方針 …など
2014 年 6 月 13 日	自動車リサイクル士 講師養成講習会	場 所：東京都港区／Forum S 5 東洋海事ビル 出席者：7 名
2014 年 7 月 12 日	北海道・東北・関東 3 ブロック合同会議	場 所：宮城県仙台市／東北大学片平北門会館 出席者：22 名 議 題：1. 平成 26 年度本部活動報告 2. 共同出荷事業等 …など
2014 年 7 月 12 日	自動車のリサイクルに 関するセミナー	場 所：宮城県仙台市／東北大学片平北門会館 出席者：41 名 講 演：使用済自動車からの貴金属等回収の ポイント（発表者：ELV 機構）
2014 年 7 月 23 日 24 日	自動車リサイクル士 制度認定講習会	場 所：宮城県仙台市／仙台国際センター 出席者：85 名（内行政 8 名、業界関係 14 名）
2014 年 7 月 24 日	第 2 回 東北ブロック会議	場 所：宮城県仙台市／仙台国際センター 出席者：13 名 議 題：1. 平成 26 年度活動方針 …など
2014 年 10 月 18 日	東北ブロック 地域団体合同交流会／ 第 3 回 東北ブロック会議	場 所：秋田県仙北市／鶴の湯 別館 出席者：26 名 （※監事団体 秋田県自動車解体処理組合）
2014 年 11 月 15 日	福島県自動車 リサイクル協同組合 適正処理推進講習会	場 所：福島県郡山市／ユラックス熱海 出席者：22 名 内 容：フロン類・エアバック類適正処理安全 作業講習、心肺蘇生と AED の実技講習

2014年 11月29日	秋田県自動車 リサイクル協同組合 青年部例会	場 所：秋田県秋田市／秋田キャッスルホテル 出席者：20名 内 容：ブロック長による講演
2014年 12月3日	青森県自動車 リサイクル協同組合 適正処理地域講習会	場 所：青森県八戸市／モータースカレッジ東北 出席者：21名 内 容：適正処理推進のための講習
2014年 12月4日	山形県自動車解体 協議会 適正処理推進講習会	場 所：山形県天童市／天童ホテル 出席者：30名 内 容：適正処理推進のための講習
2014年 12月17日	岩手県 ELV 協議会 適正処理講習会	場 所：岩手県盛岡市／つなぎ温泉 愛真館 出席者：30名 内 容：適正処理推進のための講習
2015年 3月5日	第4回 東北ブロック会議	場 所：宮城県仙台市／TKP ガーデンシティ仙台 出席者：13名 議 題：1. 平成26年度活動報告 2. 平成27年度活動方針 …など
2015年 3月7日	福島県自動車 リサイクル協同組合 第1回 次世代交流会	場 所：福島県郡山市／スマイルホテル郡山 出席者：16名 内 容：組合員の後継者や若手メンバーを中心 とした交流（意見交換・自己紹介など）

## 2. 活動報告

### 東北ブロック活動方針

### 「地域団体の活性化と交流」

- 「次世代の育成」で地域団体の活性化
- ELV 機構の活動等の啓蒙活動、意見交換 年3回 ブロック会議
- 地域団体連携共同出荷事業 年1回
- 地域団体の交流 監事団体 秋田県自動車解体処理協同組合

# 平成 26 年度 関東ブロック 活動報告

ブロック長 三枝 透

## 1. 活動実績

日付	会議・催事等の名称	主な内容
2014 年 10 月 26 日	関東ブロック 全体会議	場 所：埼玉県さいたま市／ホテルプリランテ武蔵野 出席者：29 名 講演会：1. 「自動車リサイクルを巡る動向」 ：経済産業省 金澤リサイクル室長 2. 「フロン類・エアバッグ類適正業務 の重要ポイントについて」 ：自動車再資源化協力機構 三淵マネージャー 議 題：1. 各地域の取組状況の報告 2. 平成 26 年度上期事業報告 3. 全体意見交換 …など
2014 年 12 月 10 日 11 日	自動車リサイクル士 制度認定講習会	場 所：東京都文京区／LMJ 東京研修センター 受講者：77 名（内行政 14 名、業界関係 14 名） 講 師：有原、吉本、加藤、唐崎、清野

## 2. 活動報告

- ブロック内の交流促進  
関東ブロック全体会議を開催し、ブロック内での交流を図った。
- 新規会員加入の促進  
栃木県 2 社加入、千葉県 賛助会員 1 社加入。
- 会員数の動向  
静岡県が組合が脱退となり、関東ブロックの会員数は 30 社減となった。

# 平成 26 年度 中部・北陸ブロック 活動報告

ブロック長 金森 幸元

## 1. 活動実績

日付	会議・催事等の名称	主な内容
2014 年 4 月 10 日	ELV 愛知 上半期定例会	場 所：愛知県
2014 年 4 月 14 日	第 1 回 中部・北陸 ブロック会議	場 所：愛知県名古屋市／名駅 IMAI ビル 出席者：10 名 議 題：1. 活動報告 2. 活動計画 …など
2014 年 4 月 23 日	岐阜県 ELV 協議会 総会	場 所：岐阜県岐阜市／県民ふれあい会館
2014 年 4 月 30 日	ELV 愛知 臨時会議	場 所：愛知県
2014 年 6 月 2 日	TMCA 総会	場 所：愛知県
2014 年 6 月 5 日	ELV 三重 定例会／ 事業所見学	場 所：三重県 見学先：松下解体、福田解体
2014 年 7 月 7 日	石川県中古自動車 部品協同組合 全体会議	場 所：石川県
2014 年 7 月 18 日	第 2 回 中部・北陸 ブロック会議 (全体会議)	場 所：愛知県弥富市／株式会社コマゼン 出席者：27 名 議 題：1. ELV 機構総会報告及び今季活動 2. 共同出荷事業について …など
2014 年 8 月 2 日	TMCA 定例会	場 所：愛知県
2014 年 9 月 3 日	ELV 三重 定例会 岡野自動車商会見学	場 所：三重県
2014 年 10 月 10 日	ELV 愛知 下半期定例会	場 所：愛知県

2014年 11月	貴金属類の共同出荷 事業	中部・北陸ブロック6団体参加
2014年 11月2日 ～ 11月4日	TMCA 海外視察研修	場 所：台湾
2014年 11月8日	第3回 中部・北陸 ブロック会議	場 所：愛知県名古屋市／有限会社名古屋解体 議 題：1. 講師の役割分担とリハーサル研修会 2. 共同出荷事業について …など
〃	自動車リサイクル士 講師研修会	場 所：愛知県名古屋市／有限会社名古屋解体 出席者：19名
2014年 11月16日	富山県自動車解体 部品組合 遷霊祭	場 所：富山県氷見市／氷見神社
2014年 11月22日	ELV 三重 定例会	場 所：三重県
2014年 11月26日 27日	自動車リサイクル士 制度認定講習会	場 所：愛知県名古屋市／ウインクあいち 受講者：62名（内行政11名、業界関係12名）
2015年 2月4日	石川県中古自動車 部品協同組合 総合	場 所：石川県
2015年 2月10日	ELV 三重 定例会／ 事業所見学	場 所：三重県 見学先：株式会社マークコーポレーション

## 2. 活動報告

- ブロック内会員事業所の情報交換と親睦
- ホームページの活用  
一般ユーザーからの問い合わせを会員各社に送るシステムを構築。（三重県）
- 整備振興会との連携  
整備振興会の会報誌に車両買い取り問い合わせチラシ織り込み契約締結。
- 行政との情報交換  
会議等の案内は必ず行うこととし、活発な情報交換等ができた。（岐阜県）

# 平成 26 年度 近畿ブロック 活動報告

ブロック長 高野 和憲

## 1. 活動実績

日付	会議・催事等の名称	主な内容
2014 年 4 月 11 日	第 1 回 近畿ブロック会議	場 所：大阪府大阪市／エルおおさか 出席者：18 名 議 題：1. リサイクル士受講のお願い 2. 総会出席のお願い …など
2014 年 7 月 11 日	第 2 回 近畿ブロック会議	場 所：大阪府大阪市／エルおおさか 出席者：14 名 議 題：1. 総会報告、会費の値上げ 2. リサイクル士受講のお願い …など
2014 年 10 月 9 日	3R 推進キャンペーン	場 所：大阪府大阪市／難波高島屋前 出席者：10 名 活 動：チラシ入りティッシュ配り
2014 年 10 月 28 日 29 日	自動車リサイクル士 制度認定講習会	場 所：大阪府大阪市／エル・おおさか 出席者：44 名（内行政 14 名、業界関係 6 名）
2015 年 2 月 14 日	第 3 回 近畿ブロック会議／ 合同新年会	場 所：大阪府大阪市／ユーズツー 出席者：41 名 内 容：1. 講演会「儲かる経営のやり方」 2. 懇親会（神仙閣） …など

## 2. 活動報告

- 関連団体との関係作り  
大阪府整備振興会より総会や新年会等のイベントに参加してもらえるようになり、お互いに情報交換できるようになってきた。  
部品商やメーカーなどの賀詞交換会にも参加できるようになった。
- 行政との情報交換の促進  
近畿経済産業局、近畿地方環境事務所より、ブロック会議等へ定期的に参加してもらえるようお願いしたところ快諾を得た。

# 平成 26 年度 中国・四国ブロック 活動報告

ブロック長 古谷 一夫

## 1. 活動実績

日付	会議・催事等の名称	主な内容
2014 年 8 月 4 日	第 1 回 中国・四国 ブロック会議	場 所：広島県広島市／RCC 文化センター 出席者：16 名 議 題：1. 活動報告 2. 活動計画 3. フロン類エアバック類の適正処理に ついて …など
2014 年 8 月 4 日	行政への訪問	訪問先：中国経済産業局（広島市）、中国四国 地方環境事務所（広島市）、広島県庁、 広島市、福山市 内 容：自動車リサイクル士制度認定講習会の 案内及び相談
2014 年 8 月 5 日	行政への訪問	訪問先：呉市 内 容：自動車リサイクル士制度認定講習会の 案内及び相談
2014 年 9 月 6 日	インストラクター リハーサル研修会／ 第 2 回 中国・四国 ブロック会議	場 所：岡山県岡山市／みのるガーデン 出席者：17 名 議 題：1. リハーサル研修会 2. 環境省事業の説明 …など
2014 年 10 月 23 日	環境省事業 中国ブロック説明会	場 所：広島県広島市／RCC 文化センター 出席者：9 名 議 題：1. 事業概要 2. プラスチック回収に係る作業依頼 …など
2015 年 1 月 20 日 21 日	中国地区 自動車リサイクル士 制度認定講習会	場 所：広島県東広島市／東広島商工会議所 出席者：32 名（内行政 5 名、業界関係 7 名）

2015年 2月2日	豊島現地調査	場 所：香川県小豆郡／豊島 参加者：経済産業省小林課長補佐、三木リサイクル技術部会長、古谷ブロック長
2015年 2月3日 4日	四国地区 自動車リサイクル士 制度認定講習会	場 所：香川県高松市／サンポートホール高松 出席者：20名（内行政2名、業界関係7名）
2015年 2月3日	行政への訪問	訪問先：中国四国地方環境事務所 高松事務所 内 容：自動車リサイクル士制度認定講習会の案内及び相談
2015年 3月5日	行政への訪問	訪問先：鳥取県庁、倉敷市、福山市、山口県庁 内 容：自動車リサイクル士制度認定講習会への参加のお礼及び終了報告

## 2. 活動報告

- 新規会員加入の促進

新規会員の加入促進活動を行い、1社増となった。

- 行政との連携強化

地方経済産業局、地方環境事務所及び各県の自治体を訪問し、解体業界の理解促進のための活動や連携を行っていくための情報交換を行った。

# 平成 26 年度 九州ブロック 活動報告

ブロック長 伊地知 志郎

## 1. 活動実績

日付	会議・催事等の名称	主な内容
2014 年 5 月 17 日	第 1 回 九州ブロック会議 (全体報告会)	場 所：熊本県熊本市／全日空ニュースカイホテル 出席者：60 名 議 題：1. フロン・エアバック類適正説明 2. 地域団体報告・交流会 …など
2014 年 7 月 19 日	第 2 回 九州ブロック会議／ リハーサル研修会	場 所：福岡県福岡市／サン・ライフホテル 出席者：11 名 議 題：1. 講師リハーサル 2. 総会報告・地域団体報告 …など
2014 年 8 月 22 日 23 日	自動車リサイクル士 制度認定講習会	場 所：福岡県福岡市／福岡県中小企業振興センター 出席者：67 名（内行政 10 名、業界関係 10 名）
2014 年 9 月 13 日	第 3 回 九州ブロック会議	場 所：福岡県福岡市／サン・ライフホテル 出席者：8 名 議 題：1. 理事会報告 2. 共同出荷・年間スケジュール…など
2014 年 11 月 15 日	第 4 回 九州ブロック会議	場 所：福岡県福岡市／サン・ライフホテル 出席者：6 名 議 題：1. フロン類回収先変更の件 2. 共同出荷報告確認 …など
2015 年 1 月 17 日	第 5 回 九州ブロック会議／ 新年会	場 所：福岡県福岡市／サン・ライフホテル 出席者：8 名 議 題：1. ブロック長会議報告 2. 地域団体報告 …など

## 2. 活動報告

- 九州ブロック全体報告会開催  
5 月、九州ブロックの会員との交流会を開催。

# 平成 26 年度 沖縄ブロック 活動報告

ブロック長 松田 和生

## 1. 活動実績

日付	会議・催事等の名称	主な内容
2014 年 5 月 25 日	沖縄県自動車 リサイクル協同組合 総会	場 所：沖縄県沖縄市／沖縄市農民研修センター 出席者：15 名 議 題：1. 平成 25 年度事業報告 2. 平成 26 年度事業計画 …など
2014 年 8 月 28 日	沖縄ブロック会議	場 所：沖縄県うるま市／拓南商事株式会社 出席者：10 名 議 題：1. リサイクル部品の規格策定について 2. 共同出荷事業について 3. 自動車リサイクル士講習会について …など
2014 年 9 月 27 日	沖縄ブロック会議	場 所：沖縄県沖縄市／沖縄市農民研修センター 出席者：9 名 議 題：1. 共同出荷事業について …など
2014 年 11 月 6 日 7 日	自動車リサイクル士 制度認定講習会	場 所：沖縄県うるま市／いちゅい具志川じんぶん館 出席者：42 名（内行政 10 名、業界関係 7 名）
2015 年 1 月 18 日	沖縄ブロック会議	場 所：沖縄県沖縄市／沖縄市農民研修センター 出席者：13 名 議 題：1. 共同出荷事業について 2. 自動車リサイクル士講習会について …など
2015 年 2 月 11 日	沖縄ブロック会議	場 所：沖縄県沖縄市／沖縄市農民研修センター 出席者：12 名 議 題：1. 金属資源循環実態調査ヒアリング 2. 共同出荷事業中間報告 …など

## 2. 活動報告

- 新規会員加入の促進  
ブロック正会員として 4 社加入。

## 5) 収支報告・監査報告

1. 貸借対照表
2. 財産目録
3. 損益計算書
4. 個別注記表
5. 有形固定資産明細表
6. 損失処理案
7. 監査報告書

# 貸借対照表

平成27年3月31日

一般社団法人 日本ELVリサイクル機構

(一 資産の部)	(二 負債の部)																																																																																																						
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10px;">I</td> <td style="width: 80%;">流動資産</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1. 現金及び預金</td> <td style="text-align: right;">23,408,533</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2. 商品</td> <td style="text-align: right;">258,812</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3. 立替金</td> <td style="text-align: right;">63,655</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4. 未収入金</td> <td style="text-align: right;">2,189,749</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5. 前払費用</td> <td style="text-align: right;">324,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>6. 貸倒引当金</td> <td style="text-align: right;">△ 13,138</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="border-top: 1px solid black;">流動資産計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">26,231,611</td> </tr> <tr> <td style="padding-top: 10px;">II</td> <td style="padding-top: 10px;">固定資産</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>[i] 有形固定資産</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>1. 工具器具備品</td> <td style="text-align: right;">1,473,045</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2. 減価償却累計額</td> <td style="text-align: right;">△ 1,325,934</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="border-top: 1px solid black;">有形固定資産計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">147,111</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[ii] 投資その他の資産</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>1. 差入保証金</td> <td style="text-align: right;">1,560,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="border-top: 1px solid black;">投資その他の資産計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">1,560,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="border-top: 1px solid black;">固定資産計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">1,707,111</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="border-top: 1px solid black; border-bottom: 3px double black;">資産合計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black; border-bottom: 3px double black;">27,938,722</td> </tr> </table>	I	流動資産	円		1. 現金及び預金	23,408,533		2. 商品	258,812		3. 立替金	63,655		4. 未収入金	2,189,749		5. 前払費用	324,000		6. 貸倒引当金	△ 13,138		流動資産計	26,231,611	II	固定資産			[i] 有形固定資産			1. 工具器具備品	1,473,045		2. 減価償却累計額	△ 1,325,934		有形固定資産計	147,111		[ii] 投資その他の資産			1. 差入保証金	1,560,000		投資その他の資産計	1,560,000		固定資産計	1,707,111		資産合計	27,938,722	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10px;">I</td> <td style="width: 80%;">流動負債</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1. 未払金</td> <td style="text-align: right;">9,014,412</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2. 未払費用</td> <td style="text-align: right;">1,330,037</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3. 前受収益</td> <td style="text-align: right;">2,280,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4. 預り金</td> <td style="text-align: right;">4,302,568</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5. 未払法人税等</td> <td style="text-align: right;">70,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>6. 未払消費税等</td> <td style="text-align: right;">540,600</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="border-top: 1px solid black;">流動負債計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">17,537,617</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="border-top: 1px solid black;">負債合計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">17,537,617</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="padding-top: 10px;">(三 純資産の部)</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-top: 10px;">I</td> <td style="padding-top: 10px;">基金</td> <td style="text-align: right; padding-top: 10px;">11,180,000</td> </tr> <tr> <td style="padding-top: 10px;">II</td> <td style="padding-top: 10px;">剰余金</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>1. 損失填補準備金</td> <td style="text-align: right;">123,161</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2. 繰越損失</td> <td style="text-align: right;">△ 902,056</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="border-top: 1px solid black;">純資産合計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">10,401,105</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="border-top: 1px solid black; border-bottom: 3px double black;">負債及び純資産</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black; border-bottom: 3px double black;">27,938,722</td> </tr> </table>	I	流動負債	円		1. 未払金	9,014,412		2. 未払費用	1,330,037		3. 前受収益	2,280,000		4. 預り金	4,302,568		5. 未払法人税等	70,000		6. 未払消費税等	540,600		流動負債計	17,537,617		負債合計	17,537,617		(三 純資産の部)		I	基金	11,180,000	II	剰余金			1. 損失填補準備金	123,161		2. 繰越損失	△ 902,056		純資産合計	10,401,105		負債及び純資産	27,938,722
I	流動資産	円																																																																																																					
	1. 現金及び預金	23,408,533																																																																																																					
	2. 商品	258,812																																																																																																					
	3. 立替金	63,655																																																																																																					
	4. 未収入金	2,189,749																																																																																																					
	5. 前払費用	324,000																																																																																																					
	6. 貸倒引当金	△ 13,138																																																																																																					
	流動資産計	26,231,611																																																																																																					
II	固定資産																																																																																																						
	[i] 有形固定資産																																																																																																						
	1. 工具器具備品	1,473,045																																																																																																					
	2. 減価償却累計額	△ 1,325,934																																																																																																					
	有形固定資産計	147,111																																																																																																					
	[ii] 投資その他の資産																																																																																																						
	1. 差入保証金	1,560,000																																																																																																					
	投資その他の資産計	1,560,000																																																																																																					
	固定資産計	1,707,111																																																																																																					
	資産合計	27,938,722																																																																																																					
I	流動負債	円																																																																																																					
	1. 未払金	9,014,412																																																																																																					
	2. 未払費用	1,330,037																																																																																																					
	3. 前受収益	2,280,000																																																																																																					
	4. 預り金	4,302,568																																																																																																					
	5. 未払法人税等	70,000																																																																																																					
	6. 未払消費税等	540,600																																																																																																					
	流動負債計	17,537,617																																																																																																					
	負債合計	17,537,617																																																																																																					
	(三 純資産の部)																																																																																																						
I	基金	11,180,000																																																																																																					
II	剰余金																																																																																																						
	1. 損失填補準備金	123,161																																																																																																					
	2. 繰越損失	△ 902,056																																																																																																					
	純資産合計	10,401,105																																																																																																					
	負債及び純資産	27,938,722																																																																																																					

**財 産 目 録**  
(平成27年3月31日 現在)

(単位：円)

貸借対照表科目	金額		
<b>資産の部</b>			
<b>I 流動資産</b>			
1. 現金及び預金			
① 現金	9,998		
② 普通預金			
三菱東京UFJ銀行 新橋支店	298		
三菱東京UFJ銀行 新橋支店	17,058,596		
三菱東京UFJ銀行 新橋支店	3,867,294		
三菱東京UFJ銀行 新橋支店	2,472,347		
2. 商品			
① 幟旗	189,422		
② テキスト・DVD、法令集	69,390		
3. 立替金	63,655		
4. 未収入金			
① 会費	2,035,000		
② その他	154,749		
5. 前払費用	324,000		
6. 貸倒引当金	△ 13,138		
流動資産計		26,231,611	
<b>II 固定資産</b>			
〔i〕 有形固定資産			
1. 工具器具備品			
① 書庫	368,172		
② 会議室セット	838,173		
③ カーペット	266,700		
2. 減価償却累計額	△ 1,325,934		
〔ii〕 投資その他の資産			
1. 差入保証金	1,560,000		
固定資産計		1,707,111	
資産合計			27,938,722
<b>負債の部</b>			
<b>I 流動負債</b>			
1. 未払金			
① 受託事業(外注費支払)	8,579,282		
② その他	435,130		
2. 未払費用			
① 給料手当(3月分)	1,323,141		
② その他	6,896		
3. 前受収益			
① 会費(平成27年度分)	2,220,000		
② その他	60,000		
4. 預り金			
① 受託事業	4,141,286		
② 源泉所得税、住民税、社会保険料他	161,282		
5. 未払法人税等	70,000		
6. 未払消費税等	540,600		
負債合計			17,537,617
正味財産合計			10,401,105

損益計算書

自平成26年4月1日  
至平成27年3月31日

事業別損益の部

円

I 自動車リサイクル士事業			
1 事業収入			
(1) 受講料収入	7,309,600		
(2) 教材頒布収入	413,960		
(3) 認定証カード発行収入	102,000	7,825,560	
		<u>                    </u>	
2 教材頒布原価			
(1) 当期教材仕入高	1,559,034		
(2) 期末教材たな卸高	<u>△ 69,390</u>	1,489,644	
3 事業経費			
旅費交通費	3,425,442		
会議費	1,608,440		
印刷製本費	753,686		
荷造運賃	506,104		
通信費	282,680		
事務用品費	186,161		
支払手数料	72,509		
外注費	50,000		
交際費	6,000		
租税公課	4,000		
消耗品費	400	6,895,422	
		<u>                    </u>	
自動車リサイクル士事業剰余金			△ 559,506
II 安全作業指導事業			
1 事業収入			
JARP受託事業収入		674,102	
2 事業経費			
旅費交通費		465,220	
		<u>                    </u>	
安全作業指導事業剰余金			208,882
III 物品頒布事業			
1 事業収入			
幟旗頒布収入		144,636	
2 幟旗頒布原価			
(1) 期首商品たな卸高	249,133		
(2) 当期商品仕入高	0		
(3) 期末商品たな卸高	<u>△ 189,422</u>	59,711	
3 事業経費			
荷造運賃		972	
		<u>                    </u>	
物品頒布事業剰余金			83,953

IV 環境省受託事業			
1 事業収入			
環境省受託事業収入		14,995,821	
2 事業経費			
外注費	8,619,371		
支払手数料	3,699,303		
旅費交通費	374,075		
通信費	102,314		
会議費	8,640		
環境省受託事業剰余金		<u>12,803,703</u>	2,192,118
V 広告掲載事業			
1 広告掲載料収入			
バナー広告掲載料収入		<u>1,362,000</u>	
広告掲載事業剰余金			<u>1,362,000</u>
事業剰余金			<u>3,287,447</u>

### 経常損益の部

VI 会費等収入			
1 会費収入		30,111,000	
2 賛助会員会費収入		1,680,000	
3 入会金		<u>120,000</u>	
会費等収入合計			31,911,000
VII 運営費			
1 定期社員総会費用			
印刷製本費		383,065	
会議費		137,548	
通信費		78,024	
消耗品費		50,544	
事務用品費		1,745	
懇親会費			
交際費	589,880		
受取懇親会会費	<u>△ 490,000</u>	<u>99,880</u>	
定期社員総会費用合計			750,806
2 部会及び委員会運営経費			
(1) リサイクル技術部会			
旅費交通費	1,477,250		
会議費	<u>19,440</u>	1,496,690	
(2) 広報部会			
旅費交通費	1,439,920		
交際費	<u>3,240</u>	1,443,160	
(3) 未来政策部会			
旅費交通費	<u>500,514</u>	500,514	
(4) 資源循環委員会			
旅費交通費	<u>266,440</u>	<u>266,440</u>	
部会及び委員会運営経費合計			3,706,804

3	ブロック活動経費			
	(1) ブロック活動			
	会議費	674,366		
	旅費交通費	174,186		
	交際費	69,000		
	通信費	1,188	918,740	
	(2) 共同出荷事業			
	支払手数料	418,468	418,468	
	(3) ブロック長会議費			
	旅費交通費	896,124		
	交際費	5,568	901,692	
	ブロック活動経費合計			2,238,900
4	理事会経費			
	旅費交通費	300,600		
	会議費	30,240	330,840	
	理事会経費合計			330,840
5	役員業務経費			
	旅費交通費	2,400,003		
	会議費	149,998		
	交際費	110,620		
	研修費	5,000	2,665,621	
	役員業務経費合計			2,665,621
	運営費合計			9,692,971

#### VIII 一般管理費

給料手当	11,716,514	
賞与	1,310,000	
非課税給与	584,640	
法定福利費	2,033,076	
退職金給付費用	300,120	
荷造運賃	12,096	
広告宣伝費	435,314	
交際費	75,860	
会議費	84,575	
旅費交通費	393,700	
通信費	411,336	
消耗品費	350,818	
事務用品費	144,416	
水道光熱費	380,425	
新聞図書費	170,240	
諸会費	160,000	
支払手数料	349,662	
地代家賃	4,158,000	
保険料	23,000	
リース料	617,400	
租税公課	951,900	
支払報酬料	476,280	
印刷製本費	466,440	
減価償却費	34,049	
貸倒引当金繰入額	13,138	
雑費	117,557	
一般管理費合計		25,770,556
經常損失 (△)		△ 265,080

Ⅸ 事業外収益		
受取利息	2,233	
雑収入	160,103	162,336
	<u>          </u>	
Ⅹ 特別剰余金		
貸倒引当金戻入		98,712
税引前当期損失額 (△)		<u>△ 4,032</u>
法人税・住民税及び事業税		70,446
当期損失金額 (△)		<u>△ 74,478</u>
前期繰越損失金額		△ 827,578
当期未処理損失金額 (△)		<u><u>△ 902,056</u></u>

## 個別注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

- 1 この計算書類は、中小企業の会計に関する指針によって作成しています。
- 2 資産の評価基準及び評価方法
  - (1) 棚卸資産  
最終仕入原価法によっております。
- 3 固定資産の減価償却の方法
  - (1) 有形固定資産 定率法を採用しております。耐用年数及び残存価額については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。  
なお、取得価額が20万円未満であるものについては、3年間で均等に償却する方法を採用しております。
  - (2) その他の固定資産 差入保証金のうち返還されない長期前払費用は、法定年数(5年)に基づく定額法によっております。
- 4 引当金の計上方法
  - (1) 貸倒引当金 債権の貸倒れに備えるため、法人税法の規定による法定繰入率(6/1000)により、回収不能見込額を計上しております。
- 5 その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項
  - (1) リース取引の処理方法  
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンスリース取引については、通常の賃貸借取引にかかる方法に準じた会計処理によっております。
  - (2) 消費税等の会計処理方法  
税込方式によっております。

## 有形固定資産明細表

(単位: 円)

資産の種類	取得価額	期首 帳簿価額	当期 増加額	当期 減少額	当期 償却額	期末 帳簿価額	償却 累計額
(工具器具備品)							
書庫	368,172	97,897	0	0	13,901	83,996	284,176
会議室セット	838,173	69,928	0	0	17,482	52,446	785,727
カーペット	266,700	13,335	0	0	2,666	10,669	256,031
合計	1,473,045	181,160	0	0	34,049	147,111	1,325,934

## 損 失 処 理 案

自平成26年 4月 1日  
至平成27年 3月 31日

一般社団法人 日本ELVリサイクル機構  
(単位: 円)

当期末処理損失

1. 当 期 損 失 金 額	74,478	
2. 前 期 繰 越 損 失	<u>827,578</u>	902,056

これを次の通り処理いたします。

次期繰越損失 902,056

以上の通りご報告いたします。

一般社団法人 日本ELVリサイクル機構

代表理事  
理事

河村 二四夫  
長谷川 利彦  
吉川 日男  
酒井 康雄  
木内 雅之  
平地 健  
清水 信夫  
宮本 眞希  
佐々木 健二  
石上 剛  
三枝 透  
金森 幸元  
高野 和憲  
古谷 一夫  
伊地知 志郎  
松田 和生  
永田 則男  
三木 康弘  
栗原 裕之

# 監査報告書

一般社団法人日本ELVリサイクル機構  
代表理事 河村 二四夫 殿

平成27年5月20日一般社団法人日本ELVリサイクル機構本部事務所にて、  
関係会計資料を閲覧、監査し、いずれも適法かつ正確であることを確認した。

以上

平成27年5月20日

監事 寺谷 優 

監事 大橋 岳彦 

## 2号議案 平成27年度事業計画（案）

- 1) 第11期事業計画概要
- 2) 部会活動計画
- 3) 委員会活動計画
- 4) ブロック活動計画
- 5) 組織・人事
- 6) 収支計画

# 1) 第11期事業計画概要

一般社団法人 日本ELVリサイクル機構  
代表理事 河村 二四夫

## 1. 自動車リサイクル士制度について

- 自動車リサイクル法はIT技術を活用した世界に誇る最先端の制度であるが、制度を進化させるためには、関係事業者への定期的な教育が重要である。
- 行政、関係団体等の指導を受けながら優良事業者の育成を目的とし、講習内容の充実や公平性の確保のための検討を進めるとともに自動車リサイクル士制度の認知度向上に向けた取り組みを継続する。
- FCV（燃料電池車）など新技术を広く業界へ周知を行うため、日本自動車工業会の協力を得て、教育資料の充実を図り、新規受講者拡大を目指す。
- 将来的には、「日本自動車リサイクル研究所」が開催運営する。

## 2. 資源循環の推進について

- より多くの会員事業所が参加できるように引取条件の多様化を図り、参加事業所のメリットを向上させることを目指し、国内資源循環促進に向けた取り組みを継続する。

## 3. 自動車リサイクル部品規格化に向けた取り組み

- 平成25年度閣議決定の第三次循環型社会形成推進基本計画では、優先順位の高い2R（「リデュース」、「リユース」）の取り組みがより進む社会経済システムの構築が新たな柱の一つとして位置付けられており、業界としてリサイクル部品の利活用を一層促進していくことが求められている。
- 経済産業省の「標準化委託事業」を通じ、関係団体・有識者・消費者団体などからご意見をいただきながら、自動車補修部品の「ラベリング規格」に関するJISの開発を進める予定である。
- 本取り組みは、自動車ユーザーにわかりやすい情報の評価・表示方法を新たに開発し、その記載項目及び記入要領等の標準化を行うものである。

## 4. 日本自動車リサイクル研究所について

- 自動車リサイクル関連研究の一元化へ向けた懸案事業への取り組みを開始する予定である。

## 2) 部会活動計画

### 平成 27 年度 総務部会 活動計画 (案)

部会長 木内 雅之

- 業界団体統合へ向けた活動
- 活動の透明化に向けた情報開示方法の検討
- 関係省庁や自動車関連団体との連携強化
- 10 周年事業の企画
- 事務局業務の効率化に向けた検討

# 平成 27 年度 ブロック長会 活動計画（案）

ブロック長会議長 平地 健

## 活動方針

「地域・ブロックの活性化と連携」で自動車リサイクルの進化を

## 活動スローガン

### 優良事業者の輪を広げ自動車リサイクル環境づくり

- 行政との定期的な情報交換  
ブロック長：地方経済産業局や地方環境事務所との情報交換  
年 1 回以上（ブロック会議への参加要請など）  
地域団体長：都道府県や市町村の自動車リサイクル法担当との情報交換  
年 1 回以上
- 自動車リサイクル士制度などを通じた「優良事業者の育成」による会員増強  
ブロック：安定的な講習会の開催  
地域：安全作業推進活動などの実施
- 共同出荷事業を通じたブロック・地域団体の連携強化  
定期的に共同出荷事業などができる仕組みづくり
- ブロック・地域団体での定期的な意見交換による情報集約・発信  
ブロック長会議：年 4 回開催  
ブロック会議：各ブロックで年 2 回以上開催  
（その他、1 ブロックだけでなく他ブロックとの合同会議なども検討）

# 平成 27 年度 リユース部品部会 活動計画（案）

部会長 長谷川 利彦

- 自動車補修用リサイクル部品の規格策定に向けた取り組み  
自動車補修用リサイクル部品の利用選択から、その使用終了段階までに必要となる情報について、自動車ユーザーにわかりやすい情報の評価・表示方法を開発し、自動車補修用リサイクル部品に対する情報の構成・記載項目・記入要領等の標準化を検討する。  
なお、本取り組みは、経済産業省が公募する「標準化委託事業」を活用し、「自動車補修用リサイクル部品のラベリング規格に関する JIS 開発」というテーマで実施する。
- 日本自動車リサイクル部品協議会との連携  
日本自動車リサイクル部品協議会との連携を強化し、上記事業以外でも日本自動車リサイクル部品協議会と情報交換を行いながら活動を実施する。

## 平成 27 年度　トラック・バス部会　活動計画（案）

部会長　宮本　眞希

- トラック、架装物解体作業見学会及び意見交換会の開催  
実際の解体作業を見学したうえでの意見交換会を日本トラックリファインパーツ協会（JTP）と連携して開催する。（2015 年 6 月実施予定）
- メーカー工場見学会の開催  
日本自動車工業会・日本自動車車体工業会の協力を得て工場見学会を開催する。（2015 年 11 月実施予定）
- 日本トラックリファインパーツ協会との連携  
日本トラックリファインパーツ協会（JTP）との連携を強化し、上記の活動以外でも日本トラックリファインパーツ協会（JTP）と情報交換を行いながら活動を実施する。

# 平成 27 年度 リサイクル技術部会 活動計画（案）

部会長 三木 康弘

- 自動車リサイクル士制度の運用  
関係団体との意見交換を通じて、自動車リサイクル士制度の方向性や位置づけなどをあらためて考えながら、同制度のさらなる発展を目指す。
- インストラクター制度及び講師養成に関する企画運営  
インストラクター制度に基づく講師養成講習会を企画運営するとともに、インストラクターへの展開支援を行う。
- エアバッグ車上作動処理新規契約事業者安全作業指導の実施  
「安全作業指導員」によるエアバッグ類の適正処理を推進するための車上作動処理安全作業指導を本年度も行う。

# 平成 27 年度 広報部会 活動計画（案）

部会長 永田 則男

- 「ELV ニュースレター」の継続配信  
毎月月末配信の「ELV ニュースレター」は、業界関係者のみならず幅広い分野からのインタビュー記事や論説を掲載するなどの企画を継続的に取り入れ、また、ELV 機構の活動状況、業界を取り巻く情報など、内容の充実を目指す。
- 「事務局だより」の継続配信  
好評である毎週水曜日配信の「事務局だより」は、より親しみやすい内容構成とスピーディーな情報提供をコンセプトに継続配信を行ってゆく。
- ホームページの全面リニューアル  
最新の情報を盛り込み、より親しみやすい ELV 機構のホームページを目指し、全面リニューアルを行う。
- 自動車リサイクルに関する情報収集・会員への情報提供  
広報部会内での各部会や委員会の担当者を通じて、内部からの情報収集を継続して行う。また、定期的に行行政や関係団体より自動車リサイクルに関する情報収集活動を行い、ELV ニュースレター等で会員への情報提供を行う。
- ブロック会議への積極参加  
各地域で開催されるブロック会議へ参加して、ブロック・地域へ直接取材を行うことで、ELV 機構内部や関係諸団体からの情報収集だけでは得られないより会員に密接した情報収集を図り、会員へのフィードバックを行う。
- ELV 機構会員との交流会  
各ブロックの会員と交流の場を設け、ELV ニュースレターやホームページをより身近に感じていただけるよう広報活動を行うとともに、情報交換だけにとどまらない地域を越えた会員同士の交流を促す。

# 平成 27 年度 未来政策部会 活動計画（案）

部会長 清水 道悦

- 若手経営者の情報集約

- ① 若手委員を通して各地域の（市況変化・動向変化等）近況報告を行う。
- ② 各会社の取り組み（会社紹介・経営課題等）の新たな取り組みを発表し合い、情報共有を行う。
- ③ それらを通じて、若手経営者のネットワークを強化し、近況の報告や、新たな取り組みについて得られた意見や情報を、ELV 機構執行部へ報告する。

- 若手経営者育成講演会

- ① 行政（経産省・環境省等）から講演いただき、我々自動車リサイクル業界が「業界外から」どのように見られているか、何を期待されているのか、これからの将来展望について、「客観的な視野」を取り入れる。
- ② 業界内経営者から講演いただき、自動車リサイクル業界の歴史について教えを受ける。また、各専門分野（車両買取・輸出・販売等）に強い会社代表者を招く。

様々な諸先輩方から教えを受けることで、業界の歴史を認識し、これからの変化への認識と危機意識を高め、明るく希望ある業界発展になるよう、経営に活かす。

### 3) 委員会活動計画

#### 平成 27 年度 資源循環委員会 活動計画 (案)

委員長 保坂 勇

- 資源循環促進に向けた「共同出荷事業」の継続  
平成 23 年度から平成 25 年度の 3 年度にわたり実施してきた環境省請負事業を通じて確立した全国に及ぶ回収スキームを活かして、ELV 機構独自の「共同出荷事業」として資源循環促進に向けた活動を継続する。

【実施予定】 ※変更の可能性あり

- 回収物品：コンピューター基板／カプラー／センサー類
- 集荷方法：巡回集荷（年 2 回にわけて集荷）

## 4) ブロック活動計画

### 平成 27 年度 北海道ブロック 活動計画（案）

ブロック長 石上 剛

- インストラクターによる講習会開催  
自動車リサイクル士制度にもとづく実務士上級・実務士初級・管理士の認定講習会の開催を予定。
- 非鉄金属共同出荷事業  
ELV 機構の共同出荷事業もしくは北海道ブロック独自での出荷を予定。  
平成 27 年 11 月～平成 28 年 2 月で行う予定。

# 平成 27 年度 東北ブロック 活動計画（案）

ブロック長 平地 健

## 活動方針 地域団体の活性化と交流

### 活動スローガン 「次世代の育成」で地域団体の活性化

- ELV 機構の活動等の啓蒙活動
  - ブロック会議の開催  
（年 4 回／7 月、9 月、11 月、2 月） 担当：平地
  - ブロック長会議への参加  
（年 4 回／5 月、8 月、11 月、2 月） 担当：平地
  - 部会・委員会への参加 担当：各担当者
  - 理事会への参加 担当：平地、永田
  - 地域団体の行事等参加 担当：平地
- 適正処理の推進と不適正処理の撲滅
  - 自動車リサイクル士制度認定講習会の開催  
開催地：仙台市内 担当：佐藤、平地
- 地域団体ごとに適正処理の推進を目的とした講習会の実施
  - 適正処理推進講習会  
（年 1 回程度） 担当：平地、地域団体長、  
インストラクター
- 啓蒙活動
  - 地域団体の活動や業界内の啓蒙ツールの集約  
（年 1 回程度） 担当：長山
- ELV 機構の共同出荷事業への参加
  - 各地域団体で連携して参加を検討 担当：佐藤

● ブロック内地域団体の交流

東北ブロック地域団体合同交流会の開催

→ 監事団体：日本 ELV リサイクル機構 宮城県支部

(平成 27 年 9 月 25 日 (金) ~26 日 (土) 仙台市内で開催予定)

担当：平地

● 次世代との意見交換

次世代との意見交換の場を検討

(年 1 回程度)

担当：安東

【役員】

正ブロック長	平地 健	(宮城県)	広報部会、資源循環委員会担当
副ブロック長	佐藤 勇輝	(秋田県)	自り士講習会、リサイクル技術部会担当
副ブロック長	安東 元吉	(青森県)	未来政策部会担当
会計・監事	長山 義一	(岩手県)	トラック・バス部会、啓蒙活動担当
広報部会	永田 則男	(山形県)	広報部会長
広報部会	田村 幸男	(福島県)	広報副部会長

【インストラクター】

青森県自動車リサイクル協同組合	江原 祐孝
岩手県 ELV リサイクル協議会	中野 正和
岩手県 ELV リサイクル協議会	三浦 秋弘
日本 ELV リサイクル機構 宮城県支部	平地 健
秋田県自動車解体処理協同組合	呉宮 廣哉
山形県自動車解体協議会	竹内 昌彦
山形県自動車解体協議会	菅原 義久
福島県自動車リサイクル協同組合	榎並 憲行
福島県自動車リサイクル協同組合	渡邊 寛樹

【安全作業指導員】

日本 ELV リサイクル機構 宮城県支部	平地 健
秋田県自動車解体処理協同組合	呉宮 廣哉

# 平成 27 年度 関東ブロック 活動計画（案）

ブロック長 三枝 透

- ELV 機構会員の加入促進  
未加入県の地域団体に対し、加入を打診し、入会を促進する。
- 行政との連携  
行政に対し、ELV 機構の活動を積極的に広報する。
- 定期的なブロック会議の開催と情報の伝達  
年 3 回のブロック会議を実施し、ブロック長会議の内容を地域団体に報告。  
それを、各会員に伝達する。  
→ ブロック活動費を有効に活用し、会員への確実な情報伝達を行う。  
【開催予定日】
  - ① 平成 27 年 8 月 27 日～ 9 月上旬
  - ② 平成 27 年 11 月 26 日～12 月上旬
  - ③ 平成 28 年 2 月 25 日～ 3 月上旬

# 平成 27 年度 中部・北陸ブロック 活動計画（案）

ブロック長 金森 幸元

## 活動計画表

日付	会議・催事等の名称	主な内容
2015 年 4 月	ELV 愛知 定例会	未定
2015 年 4 月 14 日	第 1 回 中部・北陸 ブロック会議	場 所：愛知県名古屋市／有限会社名古屋解体
2015 年 4 月 20 日	岐阜県 ELV 協議会 総会	未定
2015 年 5 月	ELV 三重 定例会	未定
2015 年 6 月	TMCA 総会	未定
2015 年 7 月 10 日	石川県中古自動車 部品協同組合 全体会議	未定
2015 年 9 月 4 日 5 日	第 2 回 中部・北陸 ブロック会議 (全体会議)／ 適正処理推進講習会	場 所：三重県
2015 年 7 月 10 日	第 3 回 中部・北陸 ブロック会議	場 所：富山県
2016 年 2 月 22 日	富山県自動車解体 部品組合 総会	場 所：富山県
2016 年 3 月 13 日	石川県中古自動車 部品協同組合 総会	場 所：石川県

- ELV 機構会員の加入促進  
自動車リサイクル士制度認定講習会を受講した非会員事業所を中心に加入促進を図る。
- ブロック活動の活性化  
年に必ず3回はブロック会議を開催することとし、ブロック内の会員と定期的に意見交換を行うことにより、ブロック活動の活性化を図る。
- 会員事業所の自動車リサイクル士の全社取得
- ブロック内各団体と担当行政との連携強化  
情報交換や意見交換を積極的に行うことにより、担当行政・中央会・企業間での連携強化を図る。
- ホームページの活用（三重県）  
ホームページを通じて、活動内容の紹介を行ったり、整備振興会との契約やエンドユーザーからの入庫誘導を図る。
- 資源循環への取り組み（三重県）  
回収高度化事業を参考に県内独自で継続事業としていく。

# 平成 27 年度 近畿ブロック 活動計画（案）

ブロック長 高野 和憲

- ブロック活動  
年 4 回はブロック会議を開催し、行政や関連団体との連絡を密にする。
- 地域団体の活動の活性化  
地域団体の活動をこれまで以上に活性化してもらえるようにブロックでサポートする。
- 3R 推進キャンペーン  
毎年大阪の組合で行っている活動を他の団体の方々にもご協力いただく。

## 平成 27 年度 中国・四国ブロック 活動計画（案）

ブロック長 古谷 一夫

- ELV 機構活動並びに地域活動の推進  
ELV 機構の活動に参加するとともに、ELV 機構の活動に準じた地域の活動を推進していく。
- ELV 機構会員の加入促進  
地域団体の協力を得て、各県の解体事業者に対する入会促進活動を実施する。
- 行政、自動車関連業者等との情報交換  
行政や自動車関連業者等（整備業者など）をブロック会議へ参加してもらうことにより、情報交換を行っていく。

# 平成 27 年度 九州ブロック 活動計画（案）

ブロック長 伊地知 志郎

## 活動計画表

日付	会議・催事等の名称	主な内容
2015 年 4 月 18 日	第 1 回 九州ブロック会議	場 所：福岡県福岡市／サンライフホテル 2・3 議 題：1. 講演 経済産業局 森永課長 2. 講習会・第 2 回全体報告会
2015 年 7 月 18 日	第 2 回 九州ブロック会議 (全体報告会)	場 所：熊本熊本市／ホテル日航熊本

- 九州ブロック全体報告会の開催（7 月 18 日）  
九州ブロックすべての会員に対し、ELV 機構の取り組み等に関する報告を行うことにより、ELV 機構に対する理解を深めるとともに、交流を図る。

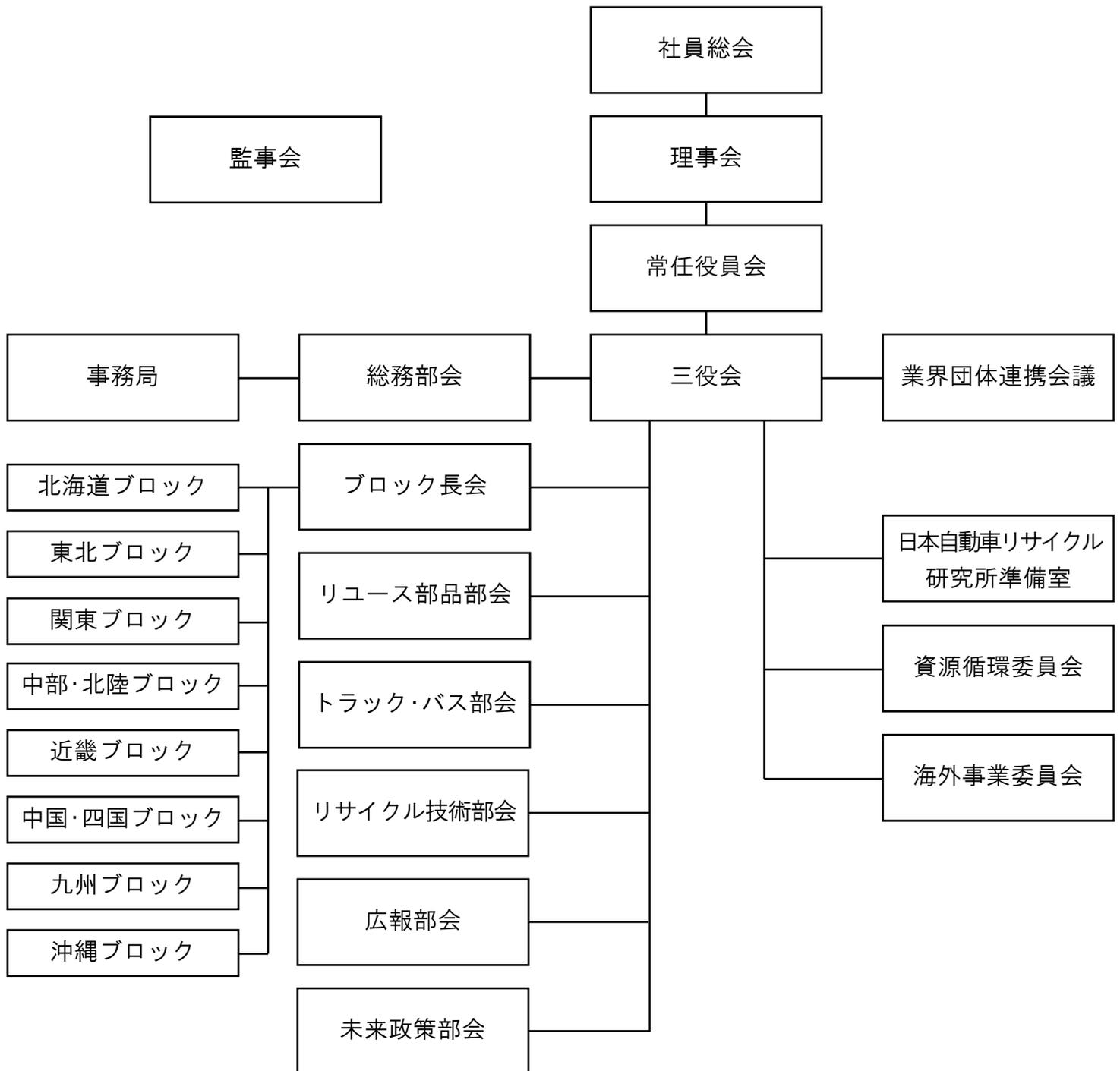
## 平成 27 年度 沖縄ブロック 活動計画（案）

ブロック長 松田 和生

- ELV 機構会員の加入促進  
行政と連携して ELV 機構の活動を PR し、加入促進を図る。
- ブロック活動の活性化  
年に 2 回はブロック会議を開催し、意見交換会等を行い、ブロック活動の活性化を図る。
- 自動車リサイクル士制度の周知  
行政と連携し、自動車リサイクル士制度の周知を図り、会員以外の参加を促進していく。

## 5) 組織・人事

### 1. 組織図 (案)



## 2. 人事（案）

### 理事

（※1～9 は常任役員を兼務）

	氏名	所属 ブロック	本部組織	
			役職	担当
①	河村 二四夫	関東	代表理事	
②	長谷川 利彦	中部・北陸	副代表理事 リユース部品部会長	リユース部品部会 組織
③	吉川 日男	中国・四国	副代表理事	リサイクル技術部会 未来政策部会
④	酒井 康雄	関東	副代表理事	総務部会
⑤	木内 雅之	関東	総務部会長	総務部会
⑥	平地 健	東北	ブロック長会議長 東北ブロック長	東北ブロック 広報部会
⑦	清水 信夫	関東	—	リユース部品部会
⑧	宮本 眞希	近畿	トラック・バス部会長	トラック・バス部会
⑨	佐々木 健二	中国・四国	—	インストラクター
10	石上 剛	北海道	北海道ブロック長	北海道ブロック 未来政策部会
11	三枝 透	関東	関東ブロック長	関東ブロック
12	金森 幸元	中部・北陸	中部・北陸ブロック長	中部・北陸ブロック リサイクル技術部会
13	高野 和憲	近畿	近畿ブロック長	近畿ブロック リサイクル技術部会
14	古谷 一夫	中国・四国	中国・四国ブロック長	中国・四国ブロック リサイクル技術部会
15	伊地知 志郎	九州	九州ブロック長	九州ブロック 広報部会 リサイクル技術部会
16	松田 和生	沖縄	沖縄ブロック長	沖縄ブロック リサイクル技術部会
17	永田 則男	東北	広報部会長	広報部会
18	三木 康弘	中国・四国	リサイクル技術部会長	リサイクル技術部会
19	栗原 裕之	関東	—	リユース部品部会

### 監事

	氏名	所属 ブロック	備考
1	寺谷 優	近畿	
2	大橋 岳彦	関東	

### 日本自動車リサイクル研究所準備室

	氏名	所属 ブロック	備考
1	伊丹 伊平	北海道	室長
2	金澤 寿幸	関東	室長補佐

### 相談役

	氏名	所属 ブロック	備考
1	栗山 義孝	関東	
2	榎本 擴	関東	

### 名誉顧問

	氏名	所属 ブロック	備考
1	北口 賢二	九州	
2	南 可昭	北海道	

### 特別顧問

	氏名	所属 ブロック	備考
1	熊田 正隆	—	

## 6) 収支計画

### 1. 平成 27 年度 予算案

平成27年度 予算案

自 平成27年 4月 1日

至 平成28年 3月31日

(単位： 円)

		(会費等収入の部)	
		I 会費収入	34,380,000
		II 賛助会員会費収入	1,500,000
		III 入会金	50,000
		会費等収入計	35,930,000
(事業費用の部)		(事業収入の部)	
I 安全作業指導事業費用		I 安全作業指導事業収入	
1. JARP受託事業費用		1. JARP受託事業収入	4,100,000
旅費交通費	3,000,000		
安全作業指導事業費用計	3,000,000	安全作業指導事業収入計	4,100,000
II 物品頒布事業費用		II 物品頒布事業収入	
1. 幟旗頒布原価		1. 幟旗頒布収入	100,000
頒布売上原価	40,000		
物品頒布事業費用計	40,000	物品頒布事業収入計	100,000
III 経済産業省受託事業		III 経済産業省受託事業	
1. 人件費	570,000	1. 事業収入	1,500,000
2. 委員会費	160,000		
3. 旅費交通費	350,000		
4. 会議費	30,000		
5. 通信費	50,000		
6. 新聞図書費	90,000		
7. 印刷製本費	120,000		
経済産業省受託事業費用計	1,370,000	経済産業省受託事業収入計	1,500,000
		IV 広告掲載料収入	300,000
		1. バナー広告収入	
		広告掲載料収入計	300,000
VI 定期社員総会費用		V 定期社員総会収入	
1. 印刷製本費	400,000	1. 懇親会会費収入	1,000,000
2. 会議費	500,000		
3. 交際費	600,000		
4. 荷造運賃	10,000		
5. 雑費	10,000		
定期社員総会費用計	1,520,000	定期社員総会収入計	1,000,000

<b>(運営費及び一般管理費の部)</b>			
<b>I 部会・委員会運営費用</b>			
1. 総務部会	50,000		
2. 広報部会	1,500,000		
3. リサイクル技術部会	1,500,000		
4. 未来政策部会	600,000		
5. トラック・バス部会	50,000		
6. リユース部品部会	1,500,000		
7. 資源循環委員会	300,000		
<b>部会・委員会運営費用計</b>	<b>5,500,000</b>		
<b>II ブロック活動費用</b>			
1. ブロック活動費	2,000,000		
2. ブロック長会議費	1,200,000		
<b>ブロック活動費用計</b>	<b>3,200,000</b>		
<b>III 理事会費用</b>			
1. 理事会	300,000		
<b>理事会費用計</b>	<b>300,000</b>		
<b>IV 役員業務費用</b>			
1. 常任役員会	300,000		
2. 三役会	200,000		
3. 役員業務	1,500,000		
<b>役員業務費用計</b>	<b>2,000,000</b>		
<b>V 一般管理費</b>			
1. 給料手当	12,000,000		
2. 賞与	1,500,000		
3. 非課税給与	600,000		
4. 法定福利費	2,200,000		
5. 退職金給付費用	350,000		
6. 荷造運賃	15,000		
7. 広告宣伝費	450,000		
8. 交際費	60,000		
9. 会議費	80,000		
10. 旅費交通費	300,000		
11. 通信費	450,000		
12. 消耗品費	350,000		
13. 事務用品費	150,000		
14. 水道光熱費	400,000		
15. 新聞図書費	180,000		
16. 諸会費	160,000		
17. 支払手数料	350,000		
18. 地代家賃	3,888,000		
19. リース料	617,400		
20. 保険料	23,000		
21. 租税公課	400,000		
22. 支払報酬料	500,000		
23. 減価償却費	50,000		
24. 印刷製本費	500,000		
25. 研修費	40,000		
26. 雑費	50,000		
<b>一般管理費計</b>	<b>25,663,400</b>		
事業費用小計	5,930,000		
運営費小計及び一般管理費小計	36,663,400		
<b>費用合計</b>	<b>42,593,400</b>		
		<b>(事業外収入の部)</b>	
		1. 受取利息	2,000
		2. 雑収入	150,000
		<b>事業外収入計</b>	<b>152,000</b>
		会費収入小計	35,930,000
		事業収入小計	7,000,000
		事業外収入小計	152,000
		<b>収入合計</b>	<b>43,082,000</b>
		当期剰余金額	488,600
		法人税・住民税及び事業税	70,000
		税引後当期剰余金額	418,600
		前期繰越損失金額(△)	△ 902,056
		当期末処理損失金額(△)	△ 483,456

一般社団法人 日本 ELV リサイクル機構

# 会員交流会・次第

平成 27 年度 定期社員総会 会員交流会

一般社団法人 日本 ELV リサイクル機構

# 平成 27 年度 会員交流会 次第

平成 27 年 6 月 11 日（木曜日）

TKP 東京駅日本橋カンファレンスセンター ホール 2A

14 : 15 ~ 15 : 45

司会 総務部会

## 1. 開会挨拶

## 2. 意見交換及び質疑応答

ELV 機構の社員の皆様、会員の皆様にご参加いただき、  
意見交換、ELV 機構の執行部との質疑応答などを行います。

## 3. 閉会挨拶

一般社団法人 日本 ELV リサイクル機構

# スケジュール（案）

平成 27 年 5 月末日時点での予定  
（変更の可能性あり）



一般社団法人 日本 ELV リサイクル機構

# 加盟団体及び賛助会員名簿

平成 27 年 5 月末日時点

一般社団法人 日本 ELV リサイクル機構

## 加盟団体名簿

平成 27 年 5 月末日時点

社 員		
個 人		
役職		氏名
日本自動車リサイクル部品協議会 名誉会長		北口 賢二 様
地 域 団 体		
ブロック名	団体名	代表者名
北海道	北海道自動車処理協同組合	佐藤 正良 理事長
東北	青森県自動車リサイクル協同組合	安東 元吉 理事長
	岩手県 ELV リサイクル協議会	長山 義一 会長
	日本 ELV リサイクル機構 宮城県支部	平地 健 支部長
	秋田県自動車解体処理協同組合	佐藤 勇輝 理事長
	山形県自動車解体協議会	永田 則男 会長
	福島県自動車リサイクル協同組合	田村 幸男 理事長
関東	茨城県自動車リサイクル協同組合	川又 正行 理事長
	栃木県自動車リサイクル協議会	三枝 透 会長
	埼玉自動車解体事業協同組合	榎本 擴 理事長
	千葉県自動車解体業協同組合	木内 俊之 理事長
	東京自動車リサイクル協議会	吉澤 勇 会長
	新潟廃車処理協同組合	城丸 哲夫 理事長
	山梨県カーリサイクル協同組合	田中 健蔵 理事長
中部・北陸	富山県自動車解体部品組合	吉田 茂雄 理事長
	石川県中古自動車部品組合	佃 正人 理事長
	岐阜県 ELV 協議会	金森 幸元 会長
	ELV 愛知リサイクル協会	新井 雄士 会長
	ELV 三重	岡野 功 会長
	TMCA	金村 起男 会長
近畿	大阪自動車リサイクル協同組合	埜村 岳史 理事長
	播磨自動車解体組合	北川 博和 理事長
	兵庫県自動車リサイクル処理工業会	小屋 龍二 会長
	奈良県 ELV リサイクル協同組合	井戸本直也 理事長

中国・四国	山陰 ELV リサイクル協議会	西川 正克 会長
	岡山県自動車リサイクル協同組合	成本 晃一 理事長
	日本 ELV リサイクル機構 広島県支部	古谷 一夫 支部長
	日本 ELV リサイクル機構 山口県支部	吉川 日生 支部長
	日本 ELV リサイクル機構 徳島県支部	三木 康弘 支部長
	香川県自動車リサイクル協同組合	小泉 弘旨 理事長
	高知県自動車リサイクル協同組合	鎌倉 宏 理事長
九州	北九州 ELV 協同組合	三橋 裕司 理事長
	佐賀県自動車解体部品協同組合	吉原 新司 理事長
	長崎自動車中古部品卸売業組合	多久島康彦 理事長
	ELV 熊本協同組合	村田眞一郎 理事長
	大分県 ELV 商業組合	湯浅 隆雄 理事長
	宮崎県 ELV 協同組合	黒木 貴幸 理事長
	鹿児島県 ELV 協同組合	伊地知志郎 理事長
沖縄	沖縄県自動車リサイクル協同組合	松田 和生 理事長

部 品 団 体	
団体名	代表者名
シーライオンズクラブ	尼岡 良夫 会長
日本パーツ協会	早川 一二 会長
NGP 日本自動車リサイクル事業協同組合	長谷川利彦 理事長
株式会社システムオートパーツ	土居 英幸 代表取締役
TCR グループ	大橋 岳彦 会長
株式会社 JARA (日本自動車リサイクラーズ・アライアンス)	北島 宗尚 代表取締役社長
自動車補修部品研究会	清水 信夫 会長
テクルスネットワーク	針ヶ谷昌之 代表

一般社団法人 日本 ELV リサイクル機構

## 賛助会員名簿

平成 27 年 5 月末日時点

	会社名
1	株式会社青南商事 仙台支店 アルトレック塩釜
2	黒沢産業株式会社
3	株式会社アーネスト
4	日立建機日本株式会社 広域営業統括部
5	東日本コベルコ建機株式会社 関東支社 東京営業所
6	株式会社ヤマナカ 白井工場
7	有限会社片桐商店
8	石井商事株式会社 東京支店
9	株式会社アルティア
10	株式会社ブロードリーフ
11	株式会社 JARA
12	大興運輸倉庫株式会社
13	株式会社せいび広報社
14	アサヒプリテック株式会社
15	株式会社ホンダトレーディング
16	豊通りサイクル株式会社
17	大脇金属株式会社
18	朝日金属株式会社
19	株式会社 3WM
20	豊田メタル株式会社 自動車リサイクル研究所
21	タスコジャパン株式会社
22	日本リサイクルセンター株式会社
23	株式会社プロトリオス（ボデーリペア技術研修所）
24	丸本鋼材株式会社
25	三筒産業株式会社